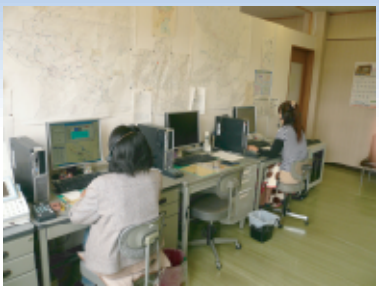
北陸信越運輸局管内

デマンド交通導入状況ガイド

～管内の実施事例から～






平成21年3月

国土交通省
北陸信越運輸局

はじめに

平成19年10月から地域公共交通活性化・再生法が施行され、今年度からは地域公共交通活性化・再生総合事業が創設されたことを受け、現在、北陸信越運輸局管内においても、多くの地域で地域公共交通の活性化・再生に向けた検討が進められています。

各地域では、既存の交通体系の見直しや交通空白地に対応した新しい交通システムの導入等の検討が進められ、特に中山間地や過疎地域を多く抱える地域につきましては、デマンド交通※に注目して検討をはじめるところが増えており、北陸信越運輸局にも他地域におけるデマンド交通の導入状況や検討を進める上での技術上の課題、法令手続上の課題、予算上の課題等について情報提供や助言を求める相談が多数寄せられるようになっています。

北陸信越運輸局では、地域公共交通の活性化・再生に取組む地域をサポートするべく、人材育成にも積極的に取組むこととなっており、研修会や相談会の実施、資料提供等を行っているところでありますが、本書は、地域の交通体系を検討される際のご参考になるよう、管内におけるデマンド交通の導入状況に関するデータを集計して、それぞれの地域の実情に応じた事例をご紹介するものです。

※デマンド交通とは・・・

従来の路線バスのように需要がなくても運行する定時・定路線型の交通システムと違い、事前予約により、ルートを迂回したり、起終点間の経路を自由に運行したりするなど、需要に応じて弾力的に運行を行う交通システムのことをいう

目次

はじめに

1．管内のデマンド交通について

1）デマンド交通とは　1

2）本書の作成にあたり　1

3）一般的なデマンド交通のイメージ　3

4）規模別にみるデマンド交通の導入例　8

2．管内のデマンド交通導入市町村データ台帳

1）台帳の見方　資料-1

2）市町村データ台帳　資料-3

1．管内のデマンド交通について

1）デマンド交通とは

■本書におけるデマンド交通の定義

デマンド交通は、近年、全国的に注目され、多くの市町村で導入されています。その種類は、対象者や運行方法など多岐に渡り、「これがデマンド交通」という枠を定めるのが難しくなっています。

そこで、本書では、以下の条件に当てはまるものをデマンド交通として扱います。

①事前予約によって利用しているもの

②乗合い運行を原則としているもの

③利用対象者の制限や乗降場所が制限されるものも含む

2）本書の作成にあたり

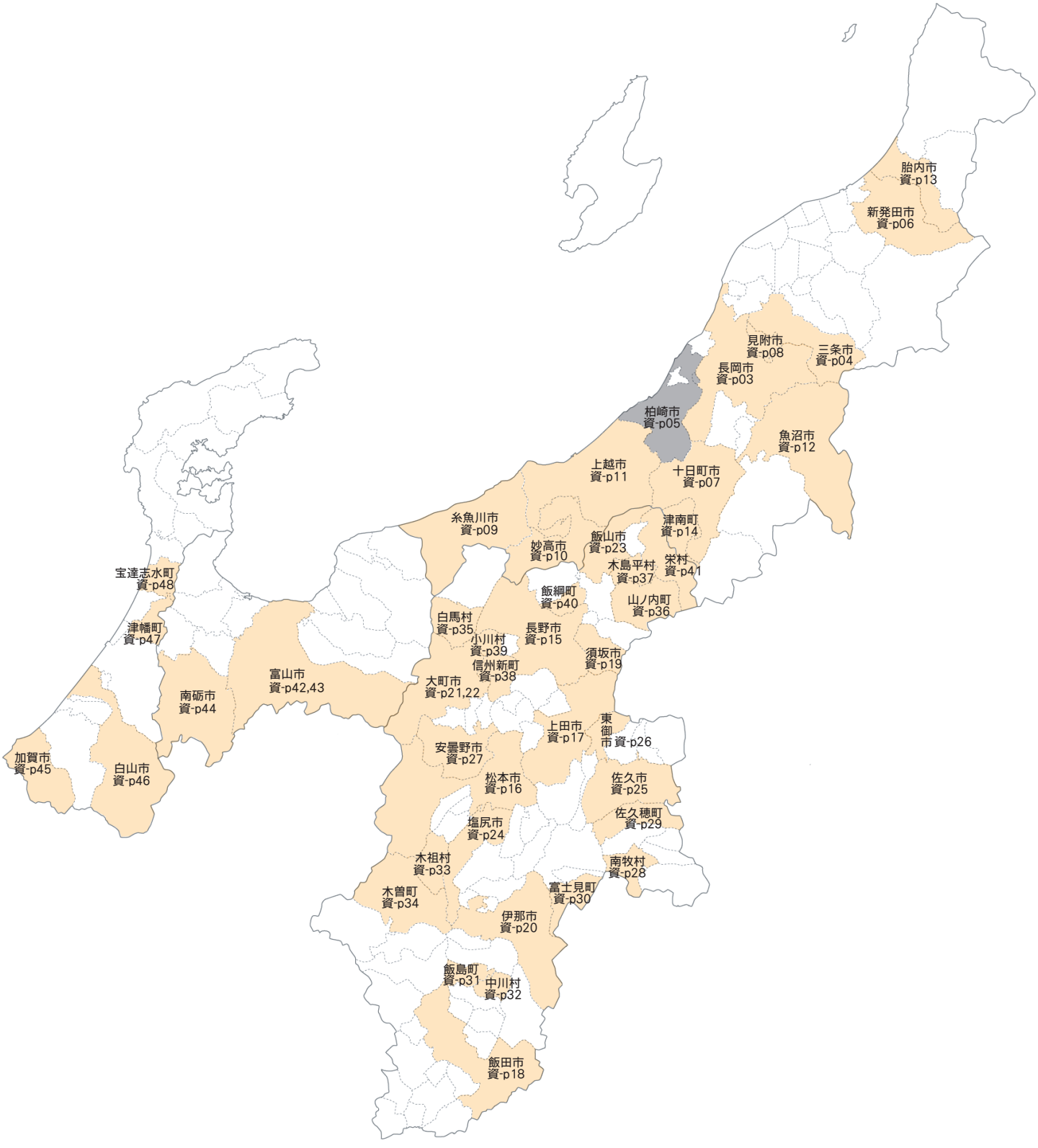
本書の作成にあたっては、北陸信越運輸局管内の全138市町村を対象に、1次アンケートを行いました。次に前述の定義に当てはまる交通を導入していると回答した市町村を対象に2次アンケートを行い、さらに詳しい運行状況について伺いました。

これらのアンケートの結果について整理し、44市町村における46事例[※1]について本書にとりまとめました。[※2]

※１：長野県大町市および富山県富山市においては、２つの運行形態がみられたため、別に記載

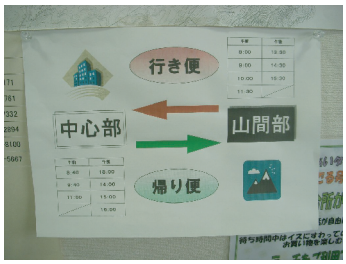
※２：本書の資-3ページ以降にとりまとめたものは各市町村から記入いただいたアンケートに基づき作成

本書におけるデマンド交通の事例紹介市町村



3）一般的なデマンド交通のイメージ

　デマンド交通が、従来の公共交通と大きく異なる点は、利用者が事前に予約をし、それにともなってバスの乗降場所、運行時間などが変わる仕組みになっています。こうすることで、今まで路線バスを運行できなかった地域への対応や、運行のコスト削減などの効果を期待することができます。
　デマンド交通は、「乗合いをするタクシー」「予約が必要なバス」のようなイメージです。





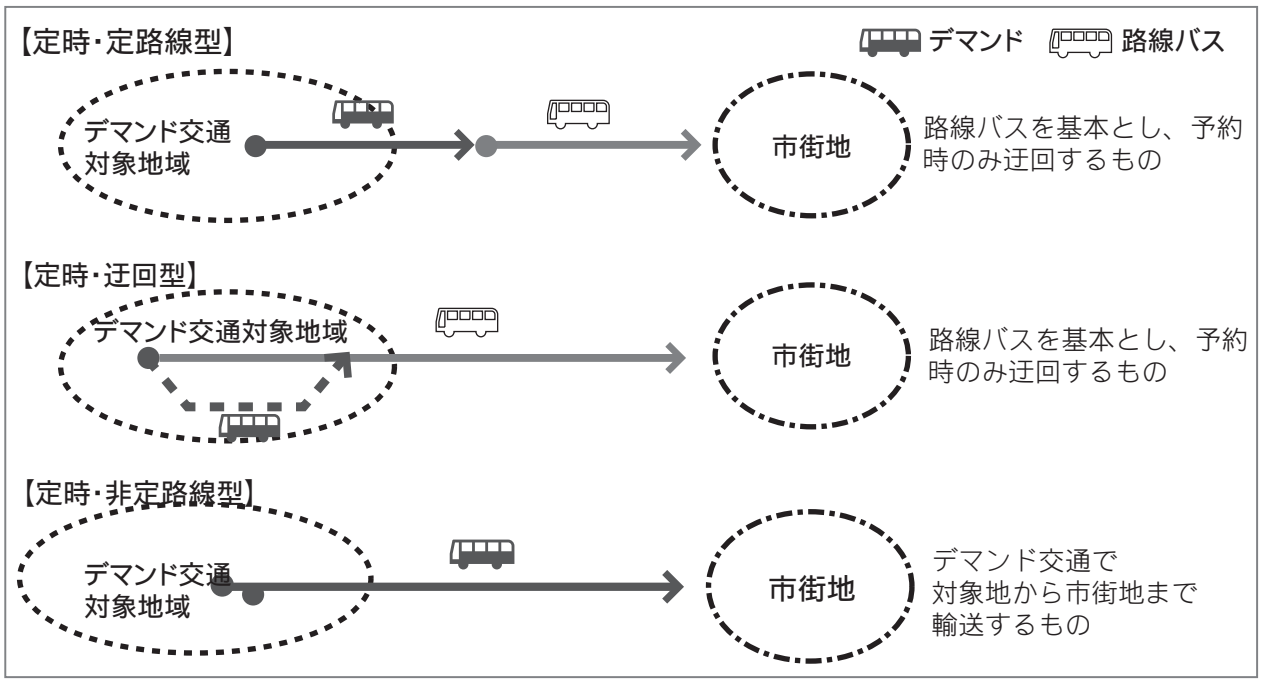


■一般的デマンド交通の予約から運行までの流れ

　ほとんどのデマンド交通は、基本時刻表が定められており、一日の本数は決められています。
　利用者は、基本時刻表の中から、自分が利用したい時間帯を電話などで予約します。
　電話は、予約センターなどで受け、パソコンなどで利用者の予約リストを作成し、予約の内容を各車両へ伝えます。
　予約した人の住所、人数によって各車両の運行経路が異なるため、これらは受付オペレーターか、もしくはパソコンの自動経路設定ソフトなどで、その都度、運行経路を設定します。
　運行については、各車両に送られた経路を元に、順に、利用者のお宅等を廻り、各行き先へ輸送します。

＜基本的には公共交通の不便な地域から市街地への輸送＞

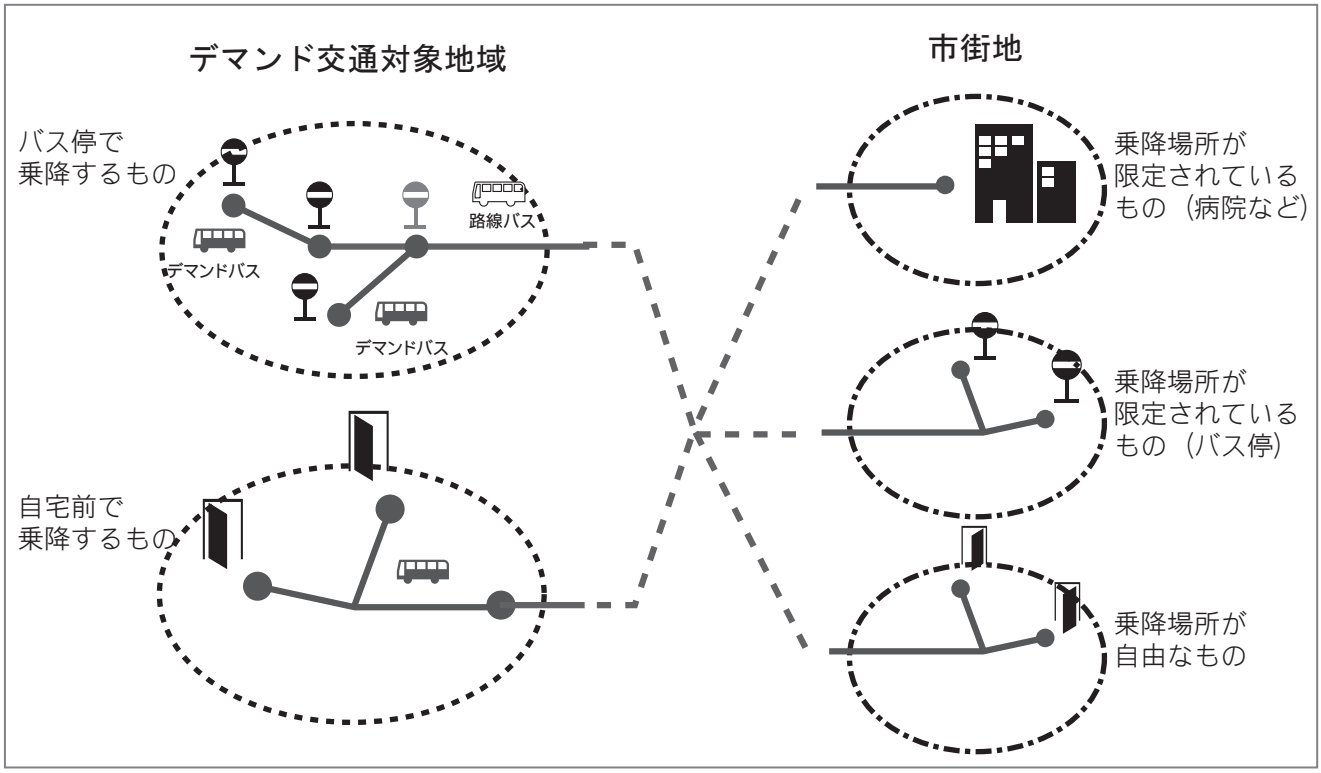
　デマンド交通は、二次交通の空白地域の不便さを解消するシステムです。対象地から市街地までの区間に公共交通がある場合は、その拠点（駅やバス停）まで輸送します。また、市街地まで輸送するデマンド交通もあります。



＜乗降りは、家の前まであるいはバス停留所＞

デマンド交通は、地域の交通状況や利用者の利便性を考え、乗降場所にも様々なパターンがあります。

家の前まで運行するもの、バス停など特定の場所から乗降するもの、病院など行き先が決まっているものがあります。



＜運行日、運行本数は様々＞

運行頻度パターンや利用対象者については様々であり、以下に示します。

〇運行頻度パターン（大きく５パターン）

①毎日運行

②平日（月曜日から金曜日の毎日）運行

③特定の曜日のみの運行

④予約時のみ運行

〇利用対象者

①高齢者

②学生

③障害者

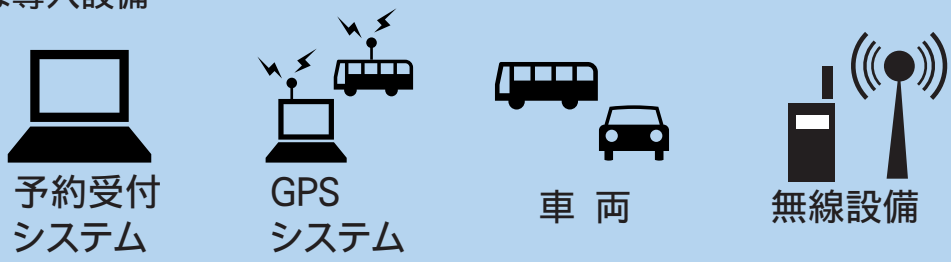
④観光客　　等

＜予約状況によって経路設定し運行＞

【流れ】	【内容】	【備考】
利用者登録など準備	デマンド交通を運行するにあたっては、利用者の住所を把握するため、利用者登録を行っている市町村があります。	●事前登録によりデータベースを作成することで、予約時に速やかに予約者の住所などを確認することが出来ます。
↓		
予約受付け	デマンド交通は、事前予約が基本となります。一般的には予約センターでオペレーターが予約を受けます。	●予約管理から各車両へ情報を送信する方法によって受付の締め切り時間が異なります。
↓		
予約管理	予約状況は、台帳に記録したり、パソコンに入力して補完します。	●予約者の電話番号と連動して運行経路や乗降位置を自動検索するソフトもあります。
↓		
経路設定	受け付けた予約から、バスの運行経路を設定します。ソフトウェアによる自動設定やオペレーターによる設定をします。	
↓		
各車両へ情報送信	各車両へ、運行経路を伝えます。電話・FAXで事前に事業所へ届け出るほか、一元管理システムによる送信があります。	
↓		
輸　送	設定した経路に従い、利用者の輸送を行います。	●各車両で巡回エリアを分担するなど、輸送コストの削減に配慮した運行計画を行なっている例もみられます。

＜導入設備は、車両のほか、予約管理のシステム・情報伝達用設備など＞

主な導入設備

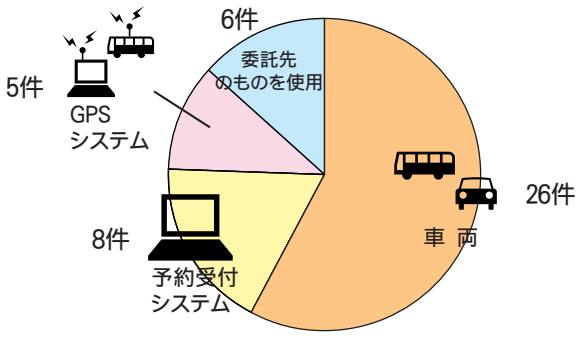


デマンド交通は、予約状況により運行する経路・時刻が変化するため、主な導入設備としては、車両の他に、予約受付システムや受付センターと車両の連絡用の設備が挙げられます。

車両については、車両購入のほかにステップや手摺の取り付け、ラッピング（バス名称や行き先表示）などの改造費用もかかります。

予約受付システムについてはパソコンなどのハードウェアと、顧客データベースや経路設定に用いるソフトウェアの導入が一般的となります。

北陸信越管内における
デマンド交通開始時に
導入した設備



主な使用車両



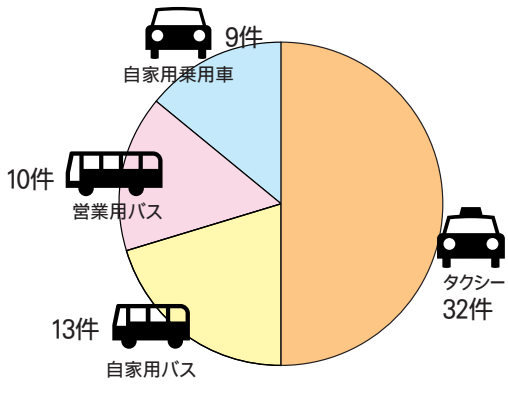
使用されている車両は、タクシーが最も多く、ついで自家用バス、営業用バスの順となっています。

乗車定員でみると、6～10人乗りの車両が最も多く使われています。

【使用車両の定員数】

5人以下	11 件
6人以上10人以下	30 件
11人以上15人以下	12 件
16人以上29人以下	8 件
30人以上	3 件

北陸信越管内における
デマンド交通の使用車両

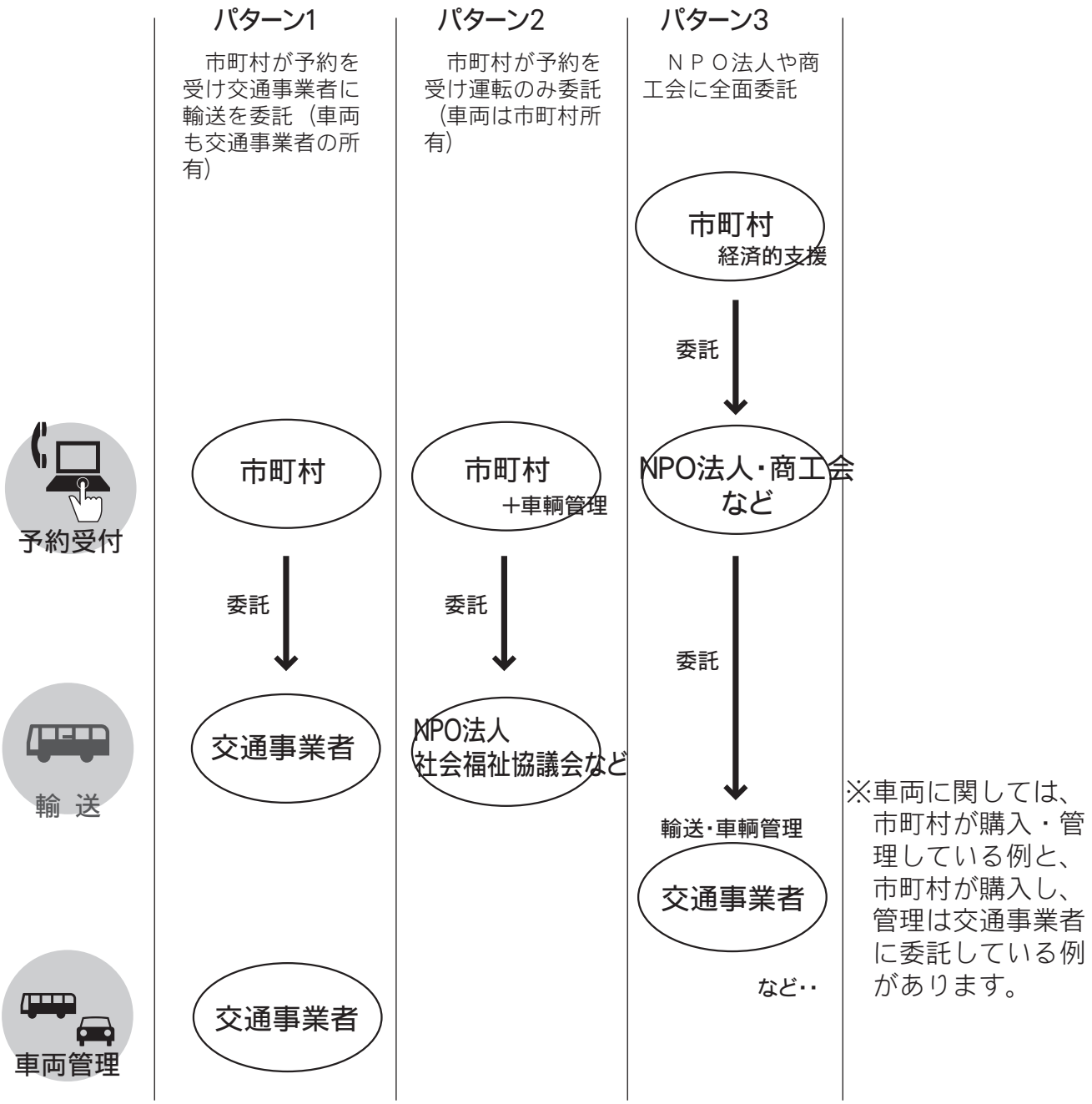


＜運行体制は、交通事業者のほかＮＰＯ法人や商工会との連携も＞

運行体制については、自治体（市町村）とＮＰＯ法人、社会福祉協議会、交通事業者などとの連携による運行が多く見られます。

また、交通空白地の人々の市街地へ出向く機会が増えることが商店街の活性化につながるため、商工会が受付委託を受けているところもみられます。

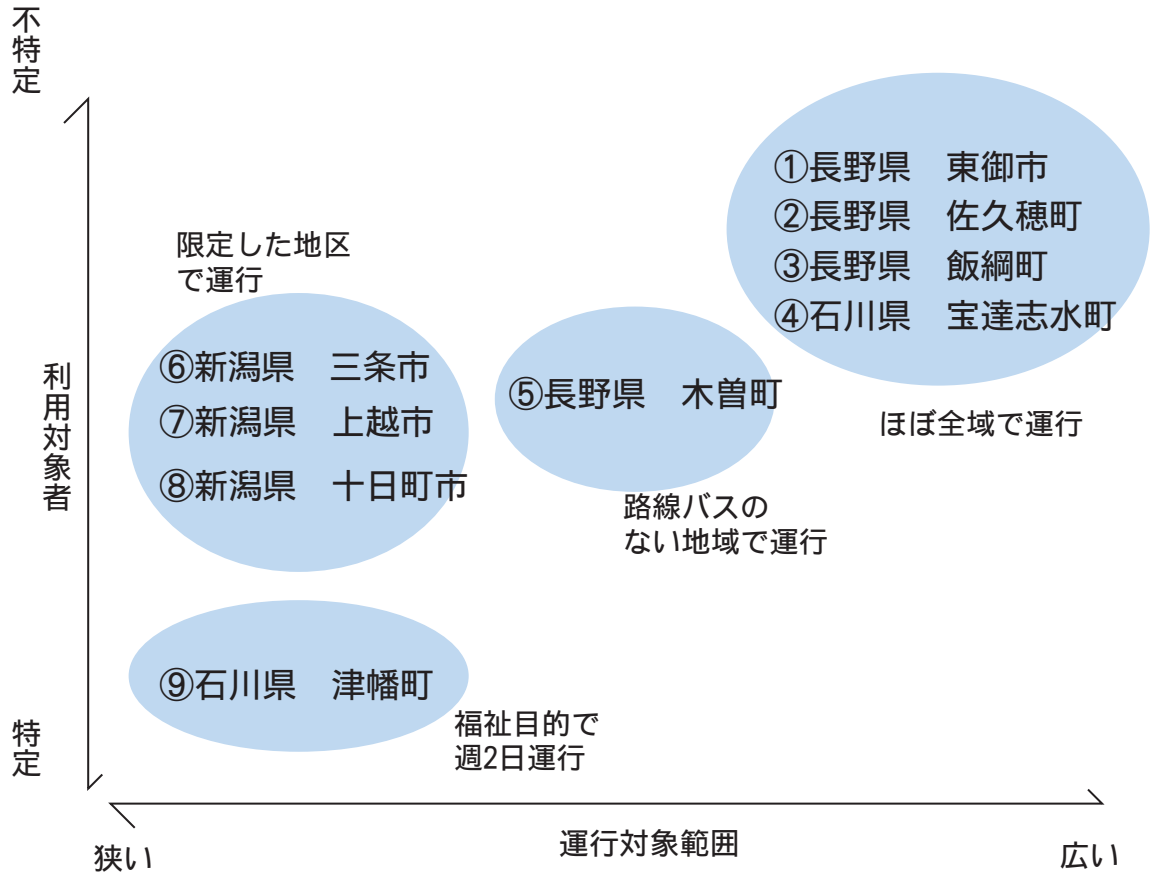
委託の内容は、主に「予約受付」「輸送（運転）」「車両管理」となっており、「予約受付」については、市町村自らが行うのが一般的です。



4）規模別にみるデマンド交通の導入例

デマンド交通においては、予約によって運行経路が異なるものも多いため、予約者の住所や行き先を体系的に把握し、効率的に運行していくことが求められます。
そのため、広いエリアを対象にデマンド交通を実施している市町村では、予約状況の管理や経路設定および各車両へのデータ送信といった体系的なシステムを導入しているところがあります。
一方で、市町村内の一部地域のみでデマンド交通を実施しているところでは、手間やコストのかからない工夫をしているところもあります。
デマンド交通の導入にあたっては、運行範囲や利用対象者人数など事業規模に合わせた、適切な仕組みを構築することが求められます。
ここでは、事業規模別に、どのような仕組みを導入しているかについて９事例を紹介します。

【北陸信越管内におけるデマンド交通の導入例】



①商工会が主体となって運営しているデマンド交通（長野県　東御市）

詳細データは資-ｐ26

1）地域の概況

東御市は、長野県の中央東部、群馬県との県境に位置し、南部へ緩い丘陵地となっている。面積は112.30k㎡と比較的小さい市です。
人口は、31,137人、高齢者率は24.3%となっています。

東御市では、商工会が主体となり、市内のほぼ全域をカバーするデマンド交通を実施しています。

【東御市の運行のポイント】



【複数のオペレーターによる受付管理】

○予約の多い時間帯には複数のオペレーターを配置し、予約対応を行っている。

○経路設定はオペレーターが行うことで、発車直前の予約受付にも対応。



商工会内の受付センターにより受付

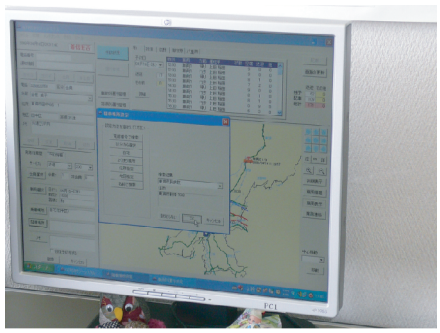


【市全域を4エリアに分け運行】

○町内を4エリアに分けて運行。

○各エリアごとにタクシーを分担し、効率化を図っている。

○乗り換えにあたっては、「乗り換えカード」の提示により無料で乗り継げる。



予約システム画面



【10人乗りワゴンを改造】

○一般的なワゴンにステップや手摺をとりつけて使用。

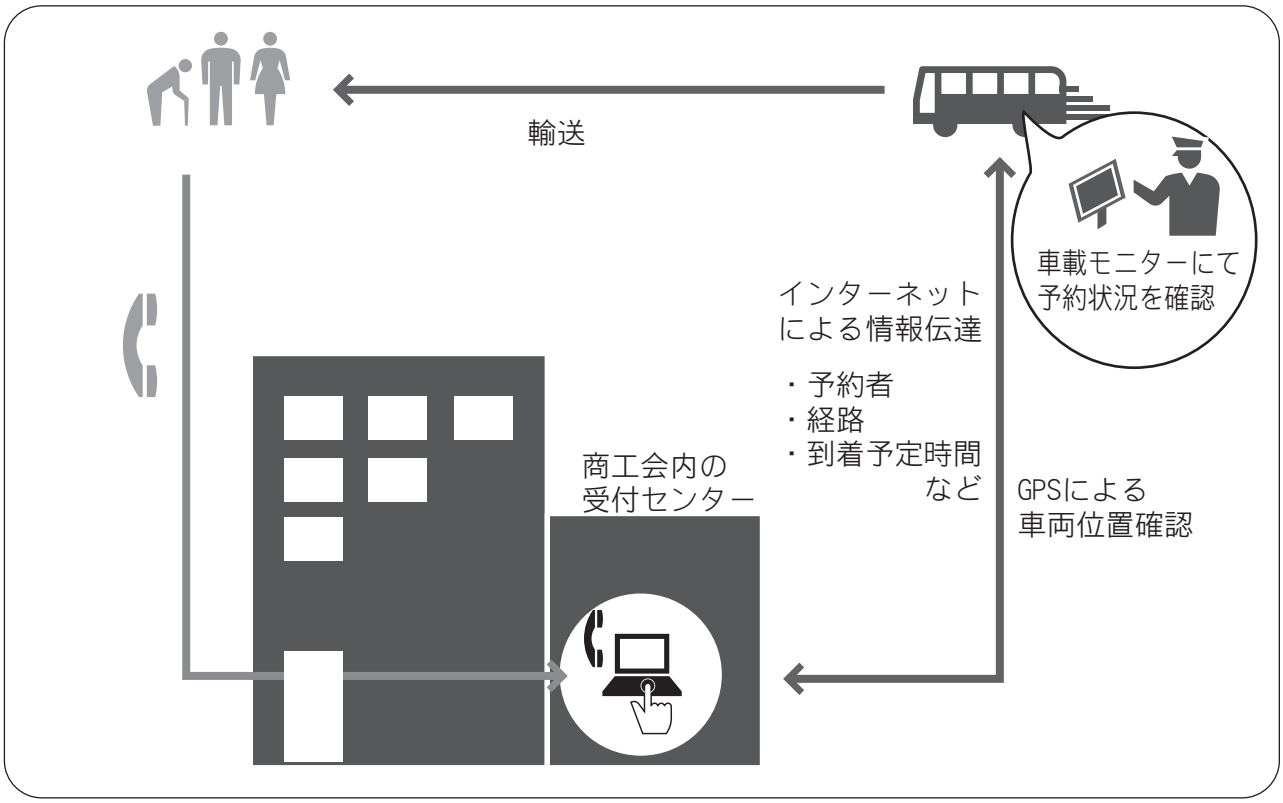


輸送に使用している車両は10人乗りワゴン

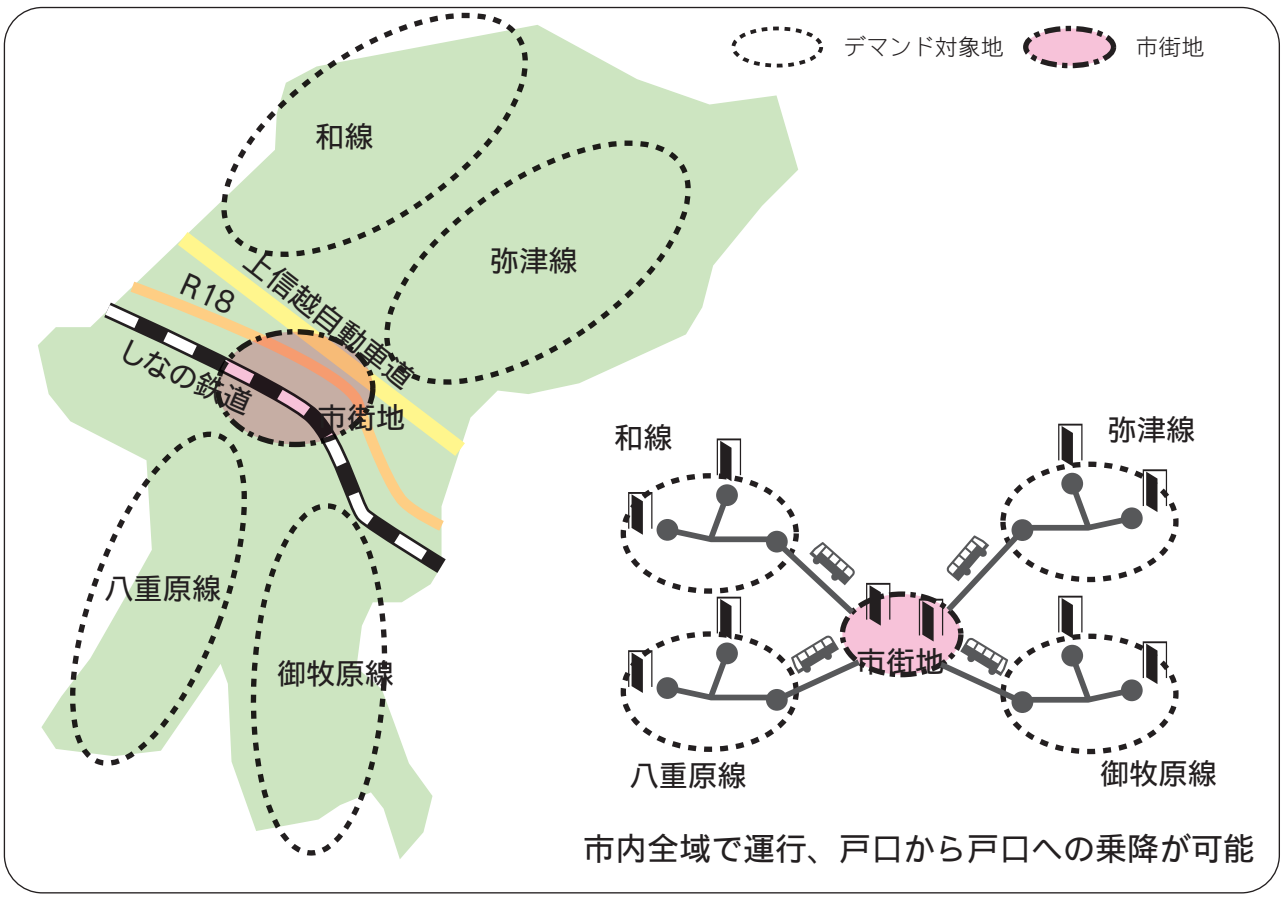


ステップ取り付けなど改造が必要

運行のシステム構成



運行エリア



②商工会が主体となって運営しているデマンド交通（長野県　佐久穂町）

詳細データは資-p 29

1）地域の概況

佐久穂町は、長野県中央東部に位置している。町の中央には南北軸に千曲川が走り、その東西に河岸段丘・丘陵地が広がっています。

人口は、12,543人で、高齢者率は31.1％となっています。

佐久穂町では、商工会が主体となったデマンド交通の運行を行っています。全町を4エリアに分け、各エリアに輸送車両を1台づつ配置し、運行の効率化を図っています。

基本時刻表

便	各地域→町中心部	方向	町中心部→各地域	便	各地域→町中心部	方向	町中心部→各地域
1	8:00	⇨	8:40	5	13:30	⇦	13:00
	9:00	⇦	8:40	6	13:30	⇨	14:00
2	9:00	⇨	9:40		14:30	⇦	14:00
	10:00	⇦	9:40	7	14:30	⇨	15:00
3	10:00	⇨	10:30		15:30	⇦	15:00
	11:30	⇦	11:00	8	15:30	⇨	16:00
4	11:30	⇨	12:00		16:30	⇦	16:00

利用者には基本時刻表が配布される

【佐久穂町の運行のポイント】



【独自のシステムによる受付管理】

○受付システムによる予約台帳管理と車両配分を行い、電話により各車両へ伝達する。経路設定はオペレーターが行っており、直前予約の対応や、予約者過多の時の配車など、臨機応変に対応。



予約は商工会内の受付センターで受ける

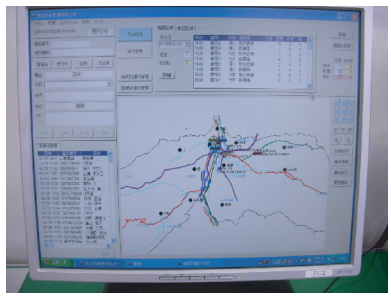


【町全域を4エリアに分け運行】

○町内を4エリアに分けて運行。

○各エリアごとにタクシーを分担し、効率化を図っている。

○乗り換えにあたっては、「乗り換えカード」の提示により無料で乗り継げる。



予約システム画面



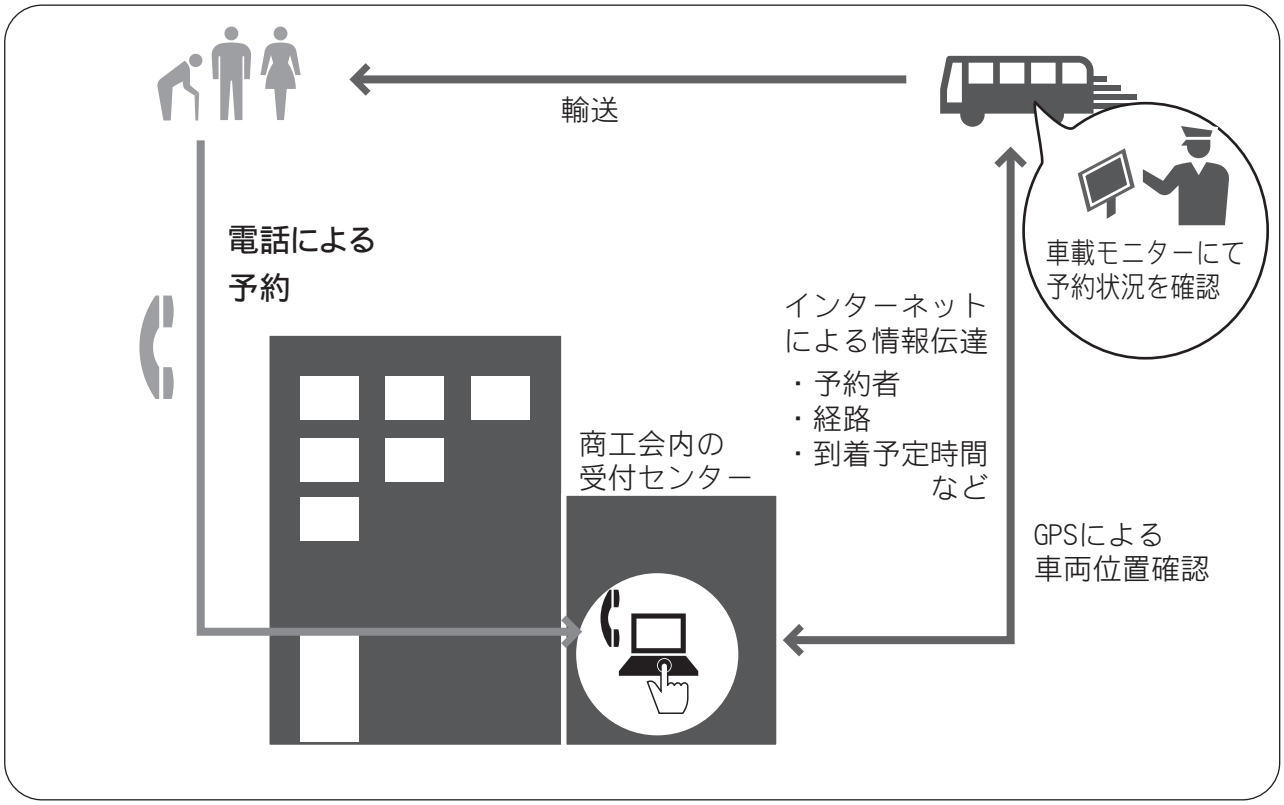
【10人乗りワゴンを改造】

○一般的なワゴンにステップや手摺をとりつけて使用。

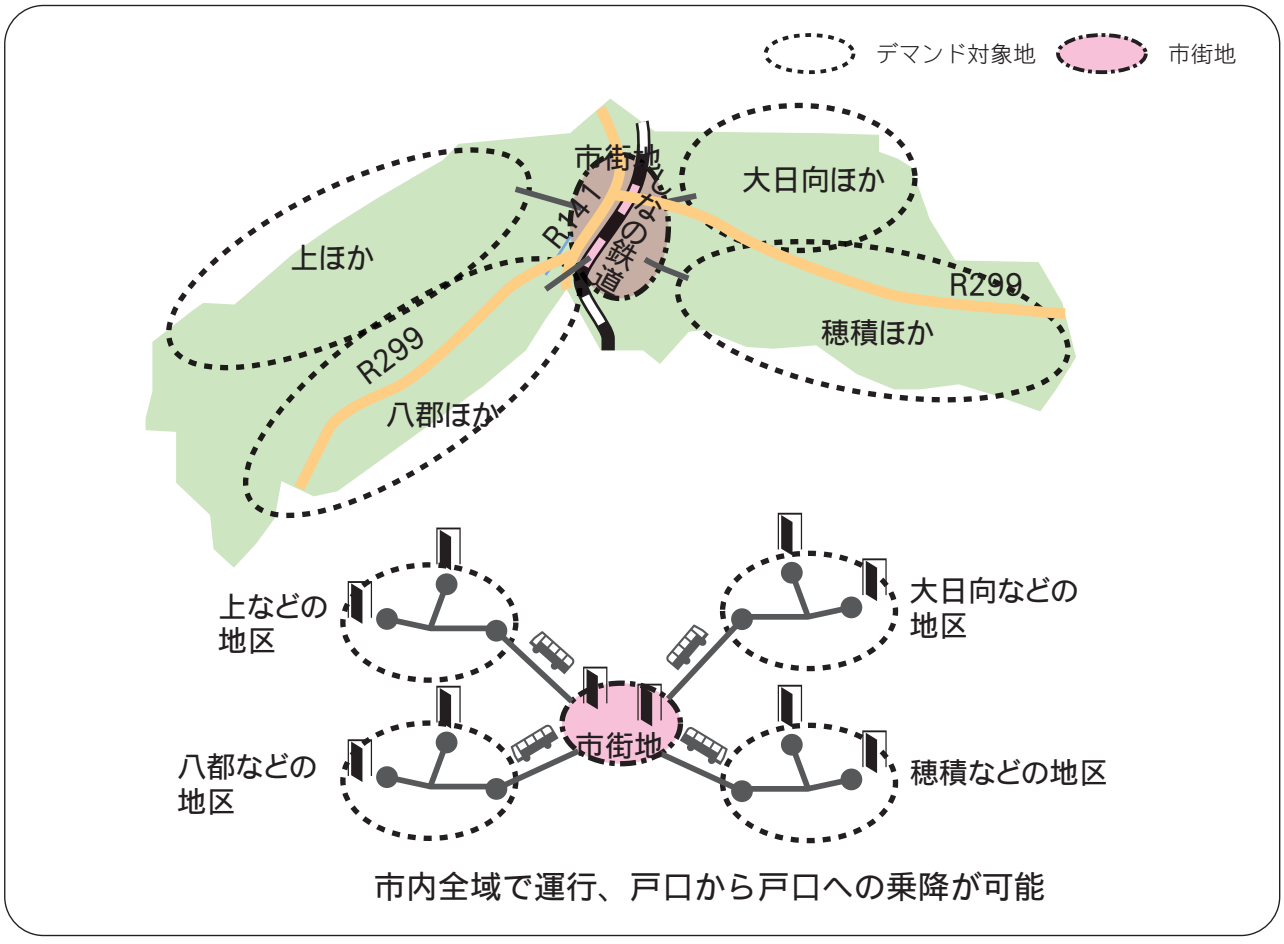


輸送に使用している車両は10人乗りワゴン

運行のシステム構成



運行エリア



③路線バスの代替としてのデマンド交通（長野県　飯綱町）

詳細データは資-ｐ40

1）地域の概況

飯綱町は、長野県北部に位置し、山間地域となっています。そのため、人口12,122人（平成20年10月1日現在）で、高齢者率29.3%となっています。

飯綱町は、合併に伴い、公共交通の効率化を検討してきました。そして、平成19年10月から、デマンド交通を実施し、無駄な路線バス運行を抑えることで、公共交通にかかる行政負担が軽減されるようになりました。

効率化・コスト縮減を図るため、簡易なシステムの開発やバスセンターへの予約センター設置、同車両による路線バスとデマンドバスの併用などを行っています。



バスセンターの一角に予約センターを設置

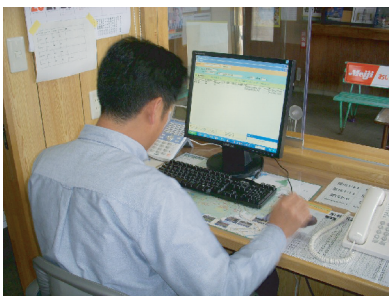
【飯綱町の運行のポイント】



【独自のシステムによる受付管理】

○独自に開発したシステムを使っており、予約センターと車両との利用者情報のやりとりは、通信ではなくSDカードを介して行われている。

○受付センターは、バスセンターの待合所にあるため、直接の予約も可能。発車10分前でも予約対応可能。


予約オペレーターは、町の職員が行う



【町全域を4エリアに分け運行】

○町内を4エリアに分け、市街地と各エリア間を輸送している。



通信システムは使わず、SDカードの手渡しによる運行管理を行う



【15人乗りバスを改造】

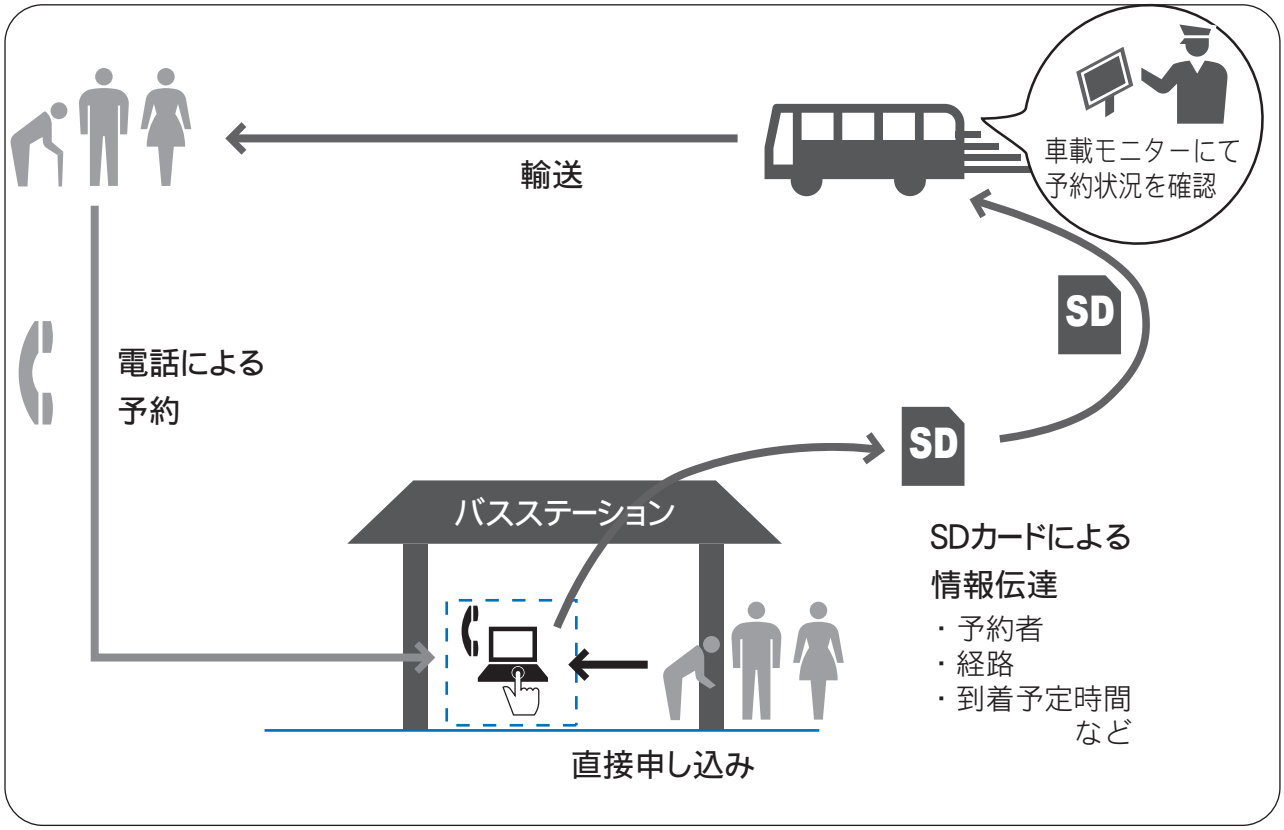
○15人乗りバスにステップや手摺をとりつけて使用。

○ナンバーは、「飯綱町」にかけ、全て「11-27（いいづな）」。

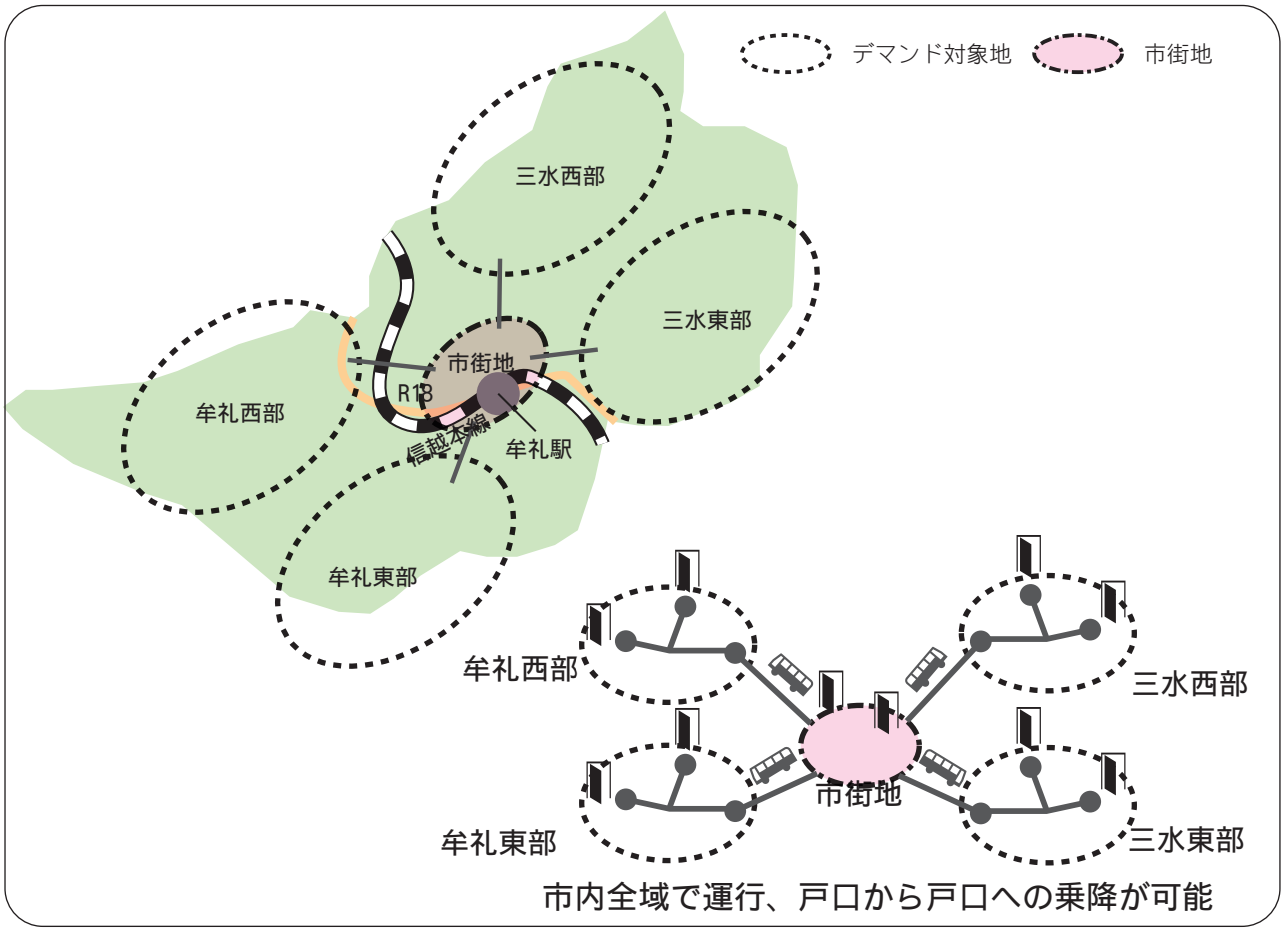


15人乗りバスを使用
ナンバーは全て「11-27（いいづな）」

運行のシステム構成



運行エリア



④路線バスの代替としてのデマンド交通（石川県　宝達志水町）

詳細データは資-ｐ48

1）地域の概況

宝達志水町は、石川県の中央部、能登半島の基部でいわゆる口能登の南部に位置し、面積58.26k㎡を有しており、人口は約14,741 人、高齢者率27.8％となっています。

地勢は西から東へと広がる扇型になっていて、東側に山間部、西側に平野部が広がっており、町の中心部は西側の平野部に存在します。また、町の中心部には南北に走る道路及び線路があり、東側から国道159 号線、JR 七尾線、さらにその西側に国道249 号線が走っています。

宝達志水町では、合併後の公共交通にかかる負担を見直し、路線バスを全面撤廃して、その代わりにデマンド交通を導入しました。

当初は、山間部の交通空白地への対応として始めましたが、平野部の需要もあったことから全町域を4エリアに分け、各エリアでデマンドタクシーによる輸送を行っています。

運行エリアが広いため、体系的なシステムを導入し、予約-経路設定-運行の効率化を図っています。



庁舎内で専属のオペレーターが対応

【宝達志水町の運行のポイント】



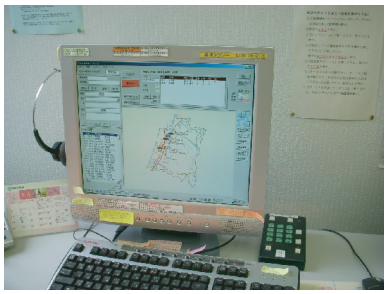
予約受付

【体系的なシステムによる受付管理】

○庁舎内に受付センターを設け、常時1～2人のオペレーターで予約対応。

○経路設定はシステムの自動設定機能に加え、オペレーターが臨機応変に対応。

○予約内容は、タクシー会社の本部とタクシーの車載モニターに同時に送信される。



車載GPSにより、各車両の位置を把握



輸　送

【町全域を⑤エリアに分け運行】

○町内を5エリアに分けて運行。

○各エリアのタクシーの分担は決まってなく、2つの事業所から空いているタクシーを各エリアへ配車



利用者は通院が多い



車両管理

【業務用タクシーと兼用】

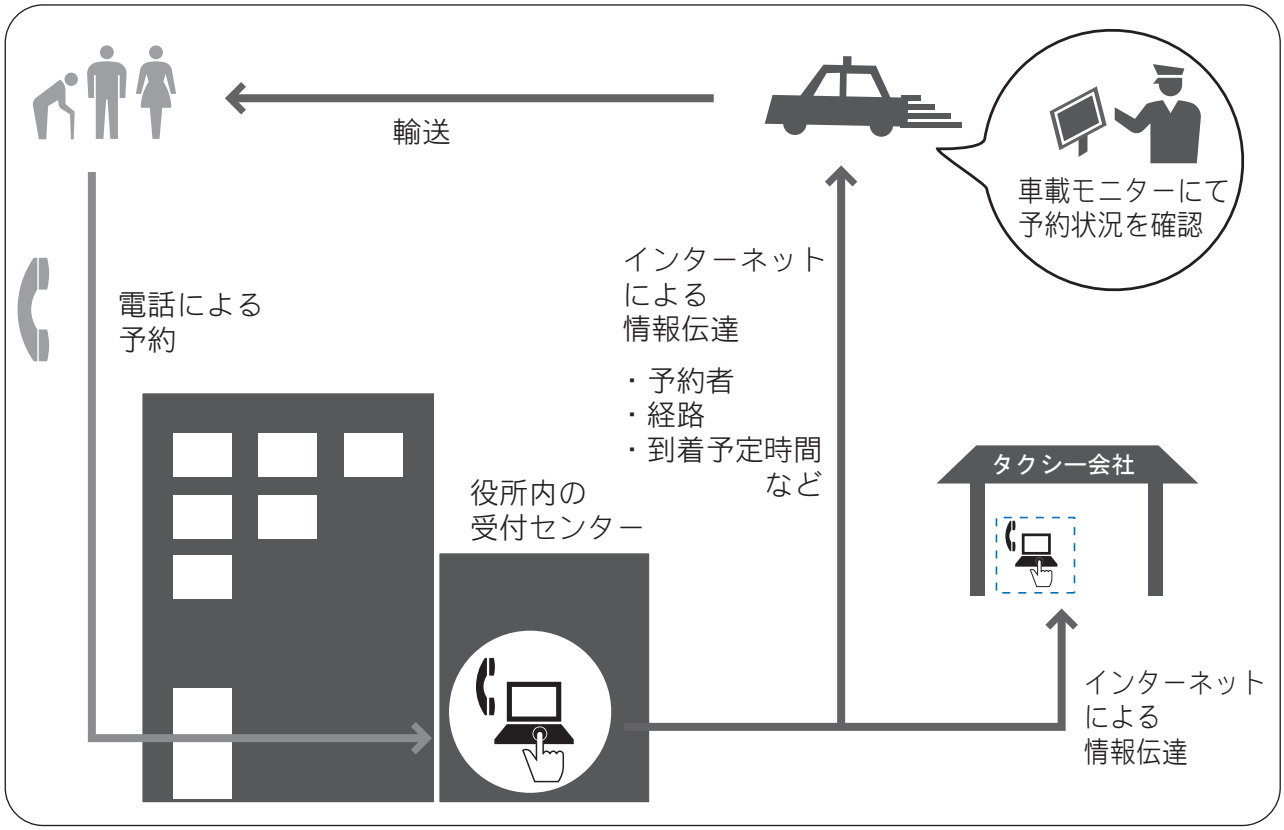
○使用する車両は、業務用タクシーに、予約情報を受信するモニターを搭載したもの。

○平日夜間や土日は、一般的なタクシーとして利用。

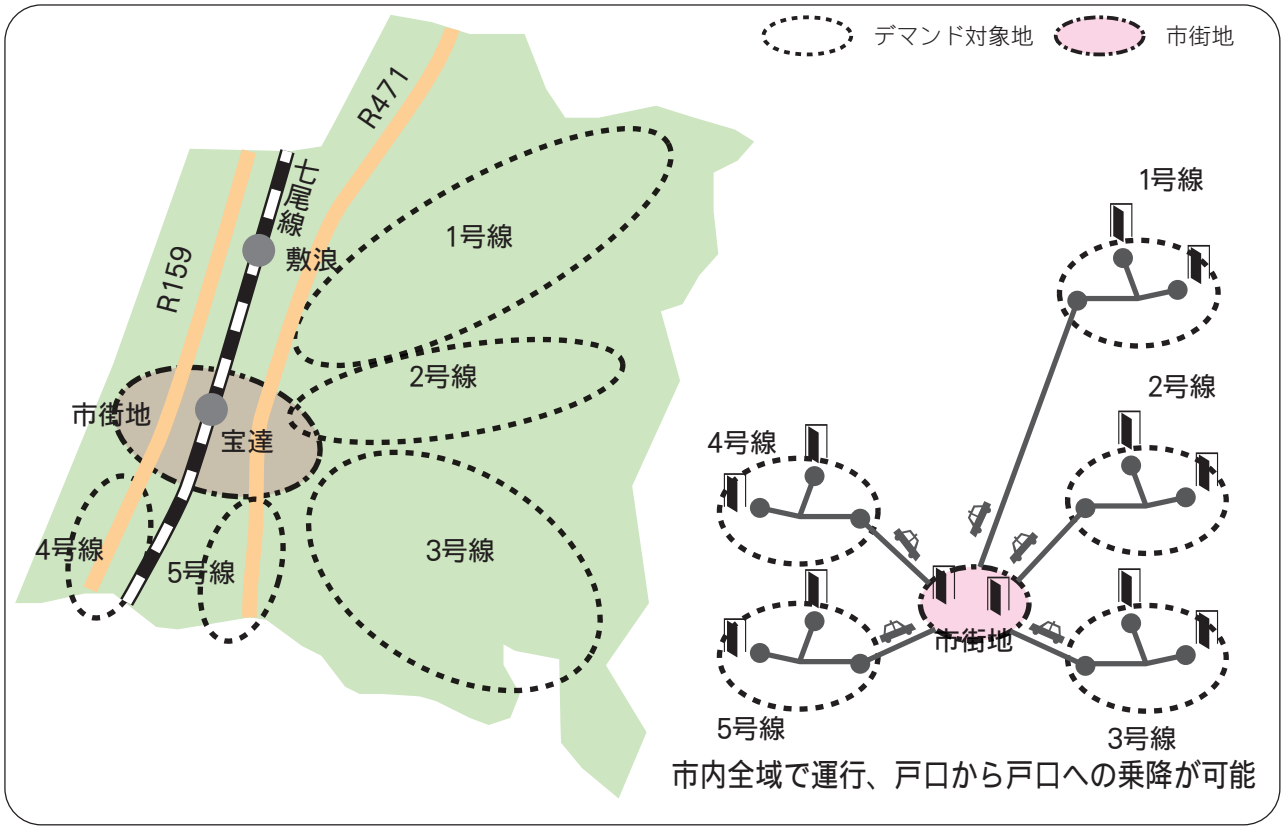


使用する車両は業務用タクシーにモニターを設置したもの

運行のシステム構成



運行エリア



⑤タクシー会社と連携したシステム運用（長野県　木曽町）

詳細データは資-ｐ34

1）地域の概況

木曽町は、長野県の南西部に位置し、面積476.06k㎡となります。西は木曽御嶽山、東は中央アルプス木曽駒ヶ岳の間にあります。人口は、13,263人、高齢者率は33.8％となっており、高齢者率の高い地域となっています。

面積の95.4％は、山林等であります。中央には木曽川が流れ、その流域に沿って国道19号とＪＲ中央西線が走っています。

木曽町では、路線バスの運行のない地域から、路線バスの最寄バス停までのデマンド交通を運行しています。

このような運行方式は、デマンド交通に使用する各車両の走行距離が短くなるため、燃料費などのコスト削減のほか、時間通りの運行がしやすくなるなどのメリットがあります。



予約は、タクシー会社の配車システムを利用

【木曽町の運行のポイント】



【タクシー会社の配車システムを利用】

○委託先のタクシー会社の配車システムを利用。

○それにあわせ一部地域にタクシー無線アンテナを設置。



路線バスのバス停からデマンドバスに乗り換えてそれぞれのお宅へ



【路線バスからの枝路線運行】

○路線バスの一部バス停から、枝状に分岐してデマンドバスを運行。

○一台あたりの走行距離が短縮できる。

○時間が遅れることが少なく、燃料費が削減できる。



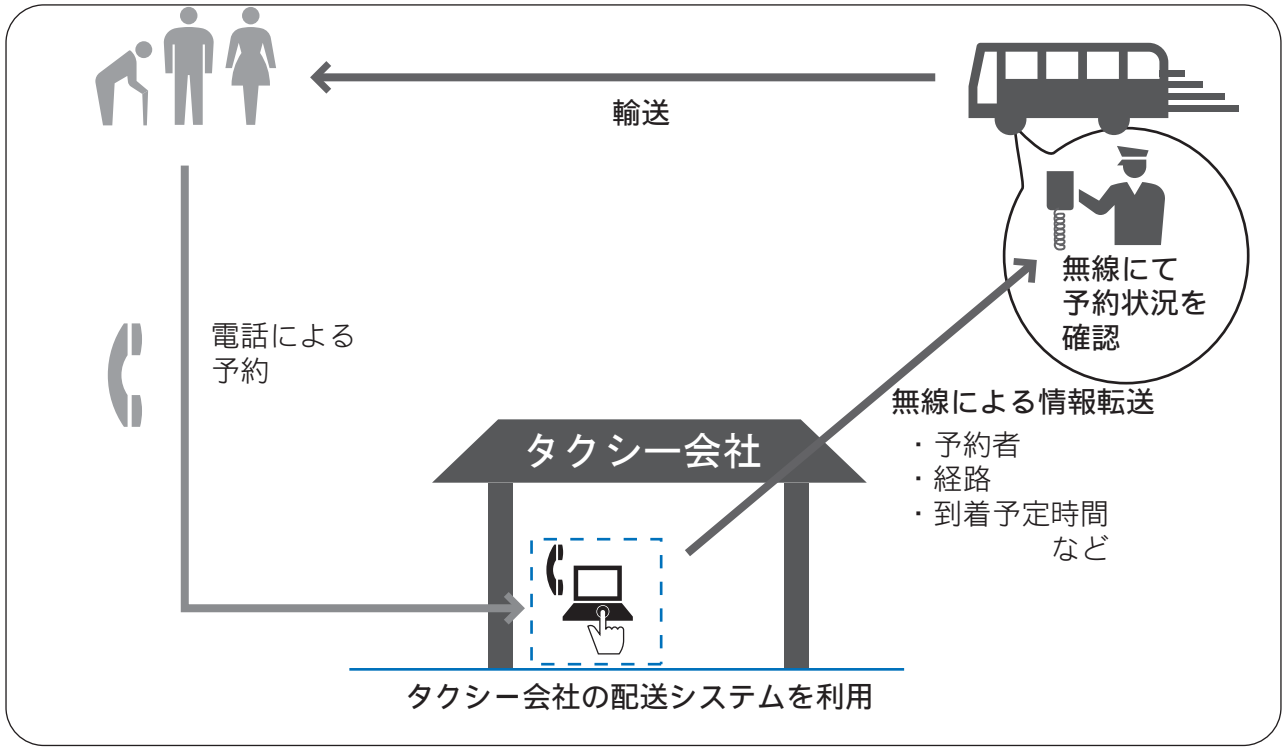
ワゴン車にステップと手摺りを取り付け



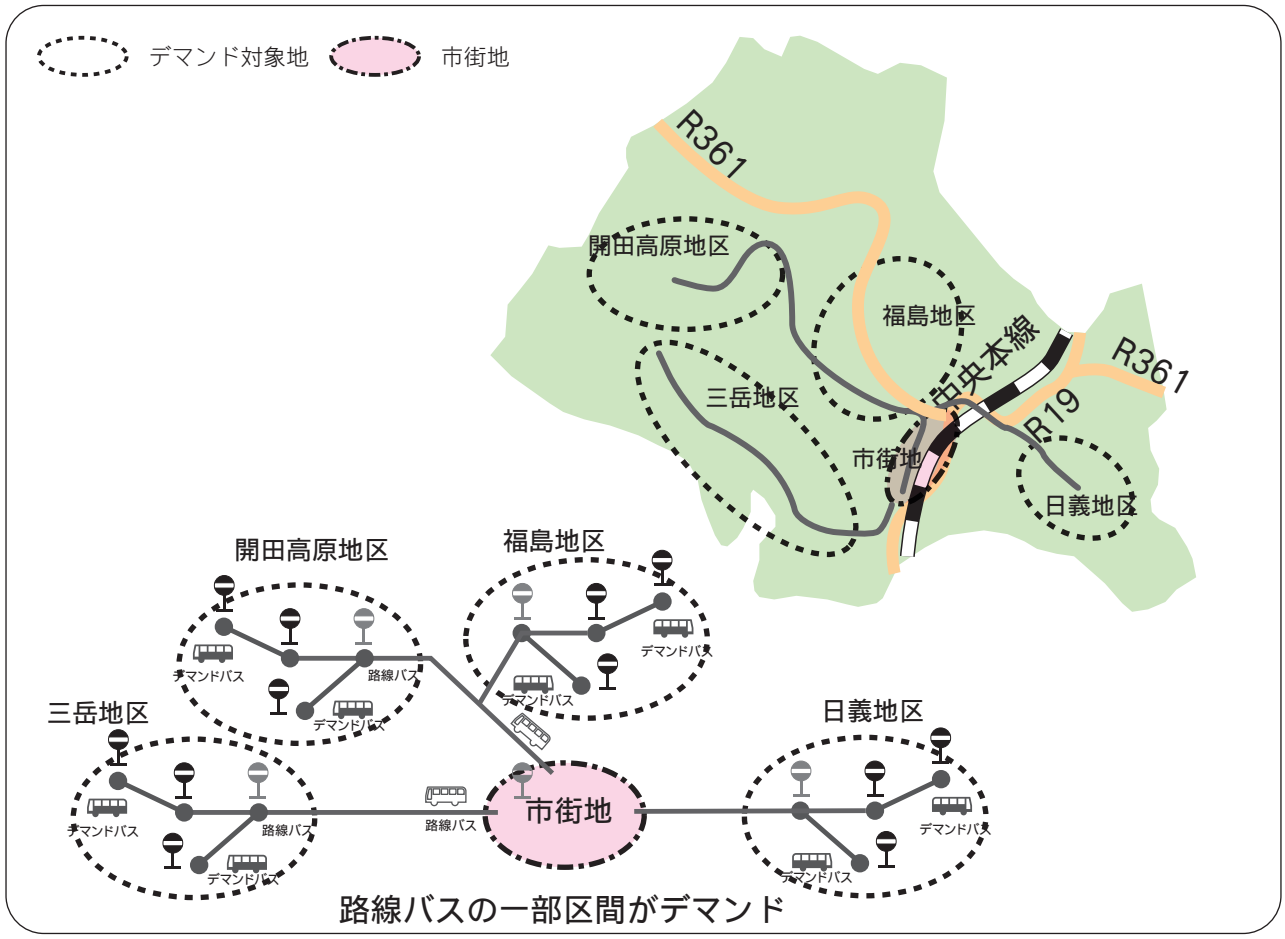
【10人乗りワゴン車を使用】

○一般的なワゴン車にステップや手摺をとりつけて使用。

運行のシステム構成



運行エリア



⑥システムと人的対応の組み合わせによるデマンド交通（新潟県 三条市）

平成21年3月現在　試験運行（本格運行は平成21年度から）

詳細データは資-ｐ04

1）地域の概況

三条市は、新潟県の中央部に位置し、西部は信濃川、五十嵐川、刈谷田川3つの河川が形成する平野部に市街地を形成し、南東部は丘陵・山岳地帯となっています。
人口は、105,628人で、高齢者率は24.8%と低いものの、南東部の山村では過疎・高齢化により、交通弱者の多い地域となっています。

新潟県三条市では、下田地区と三条市街を結ぶデマンド交通を試験的に運行しており、お年寄りの通院や学生の通学の足として利用されている。

【三条市の運行のポイント】



【役所内の受付センター】

○庁舎内に設けられた受付センターにて電話予約を受ける。オペレーターはシルバー人材へ委託の他、担当課内で受付・情報共有を行っている。

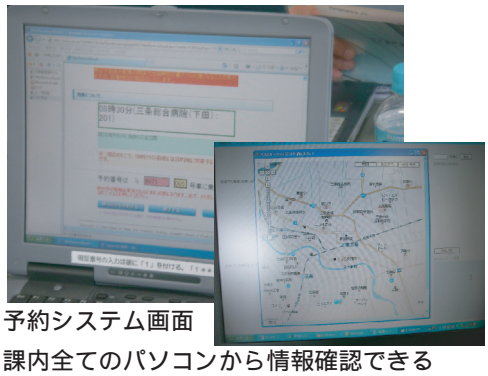


予約は役所内で専属のオペレーターが受付ける。



【予約時のみ運行 エリア型】

○予約時のみ路線を迂回させ、乗降させる。市内の複数の交通事業者により運行している。



予約システム画面
課内全てのパソコンから情報確認できる



【10人乗りワゴンを改造】

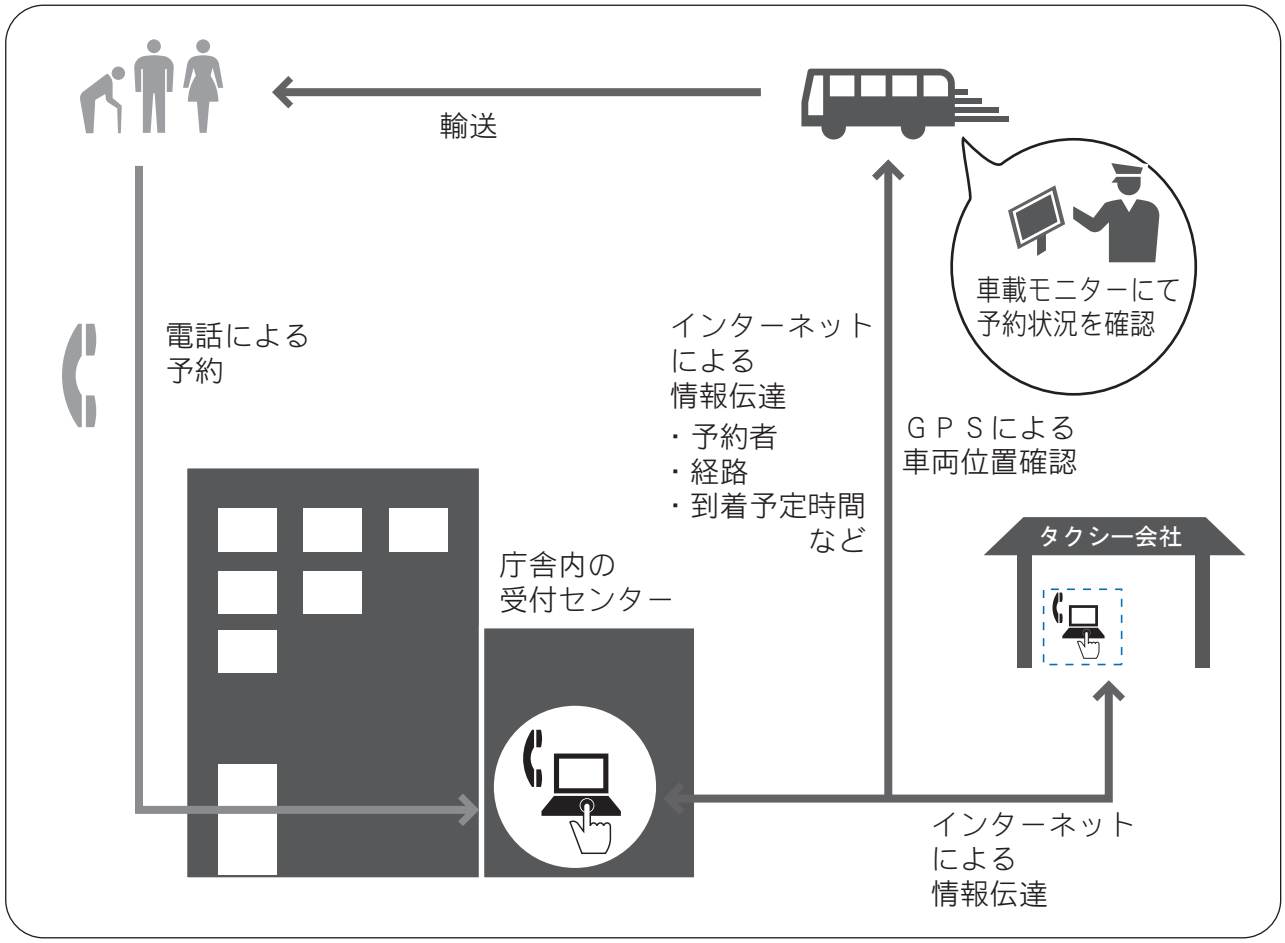
○一般的なワゴンにステップや手摺をとりつけて使用。

○お年寄りの利用が多く、運転手がフォローする場面も見られる。

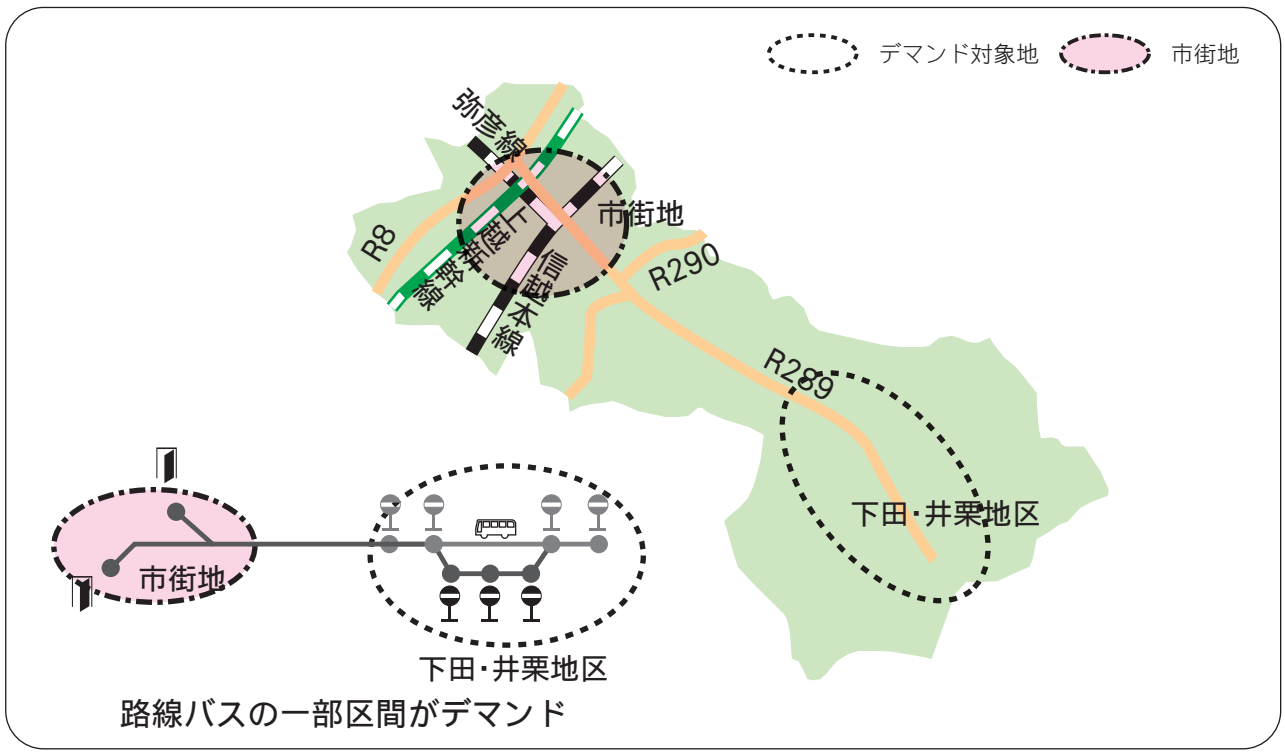


輸送に使用している車両は
10人乗りワゴン

運行のシステム構成



運行エリア



⑦路線バスの延長としてのデマンド交通（新潟県　上越市）詳細データは資-ｐ11

1）地域の概況

上越市は、新潟県の南部に位置しており、合併に伴って973.32k㎡の広大な面積を有しています。北西部は平野が広がり、南西部および東部は丘陵・山岳で構成されています。人口は、205,266人で、高齢者率は25.5％となっています。

鉄道は南北軸の信越本線・北陸本線と東西軸のほくほく線が通じているほか、各地区で路線バスが運行されています。

上越市では、浦河原区の横住地区にて、路線バスの一部区間をデマンド運行しています。

その区間については、事前予約を行い、予約があった場合のみ、迂回します。

【上越市の運行のポイント】



【独自のシステムによる受付管理】

○独自に開発したシステムを使っており、予約センターと車両との利用者情報のやりとりは、SDカードを介して行われている。



予約はバスセンター事務所内で受付ける



【予約時のみ運行　一部区間のみ】

○路線バスの一区間をデマンド運行。予約があったときのみ、全区間を運行する。



予約システム画面



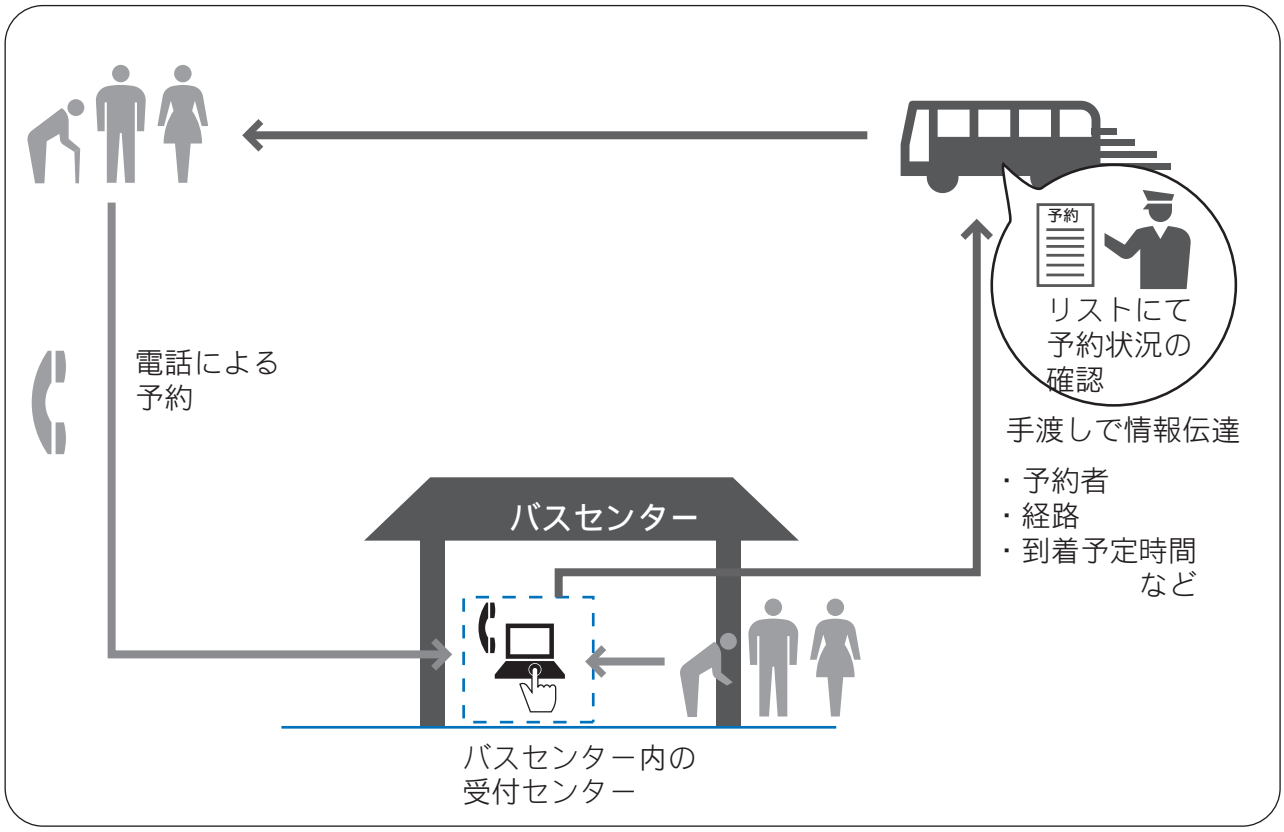
【15人乗りバスを改造】

○15人乗りバスにステップや手摺をとりつけて使用。

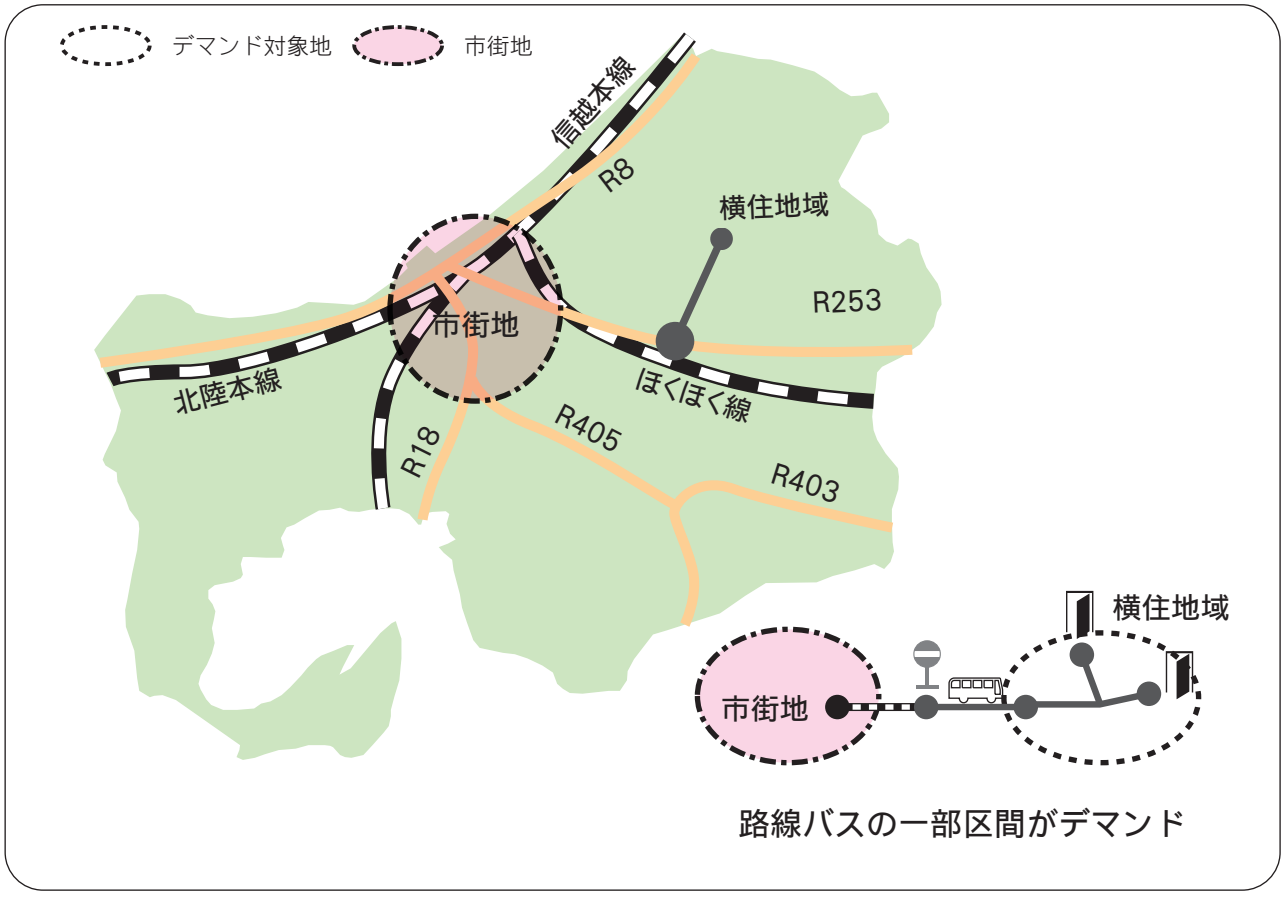


輸送に使用している車両は15人乗りの営業用バス

運行のシステム構成



運行エリア



⑧地域密着型の柔軟な対応システム（新潟県　十日町）

詳細データは資-ｐ07

1）地域の概況

十日町市は、新潟県中越地区の山あいに位置しており、冬には2mから3mの積雪がある日本有数の「特別豪雪地帯」となっています。市域内に流れる信濃川と渋海川水系沿いに水田が広がり米作が盛んです。人口61,276人（平成21年2月28日現在）で、高齢者率31.2%となっており、高齢市町村となっています。

2）運行形態

新潟県十日町の下条地区で運行しているデマンド交通は、車両は市が負担し、輸送業務を地域の活動団体に委託して運行しています。

地域の方が運転手を勤めているため、各利用者への丁寧な対応や、土地鑑を活かした柔軟な運行経路設定など、地元密着型のバス運行を行っています。また、予約については、予約センターなどの中継地点を経由せず、直接、運転手へ予約が入るため、柔軟な対応が可能となっています。

【十日町市の運行のポイント】



【運転手へ直接予約する】

○受付センターを経由せず、直接、運転手が予約を受け付ける。そのため、人件費削減や、直前の予約対応が可能。



予約は運転手が直接受ける



【路線迂回型】

○予約があったときのみ、路線を迂回する。
○市街地までではなく、最寄駅まで輸送する。
○移動距離が短いため、運行時刻の狂いが少なく、燃料費も削減できる。



園児を載せるためのチャイルドシートを常備



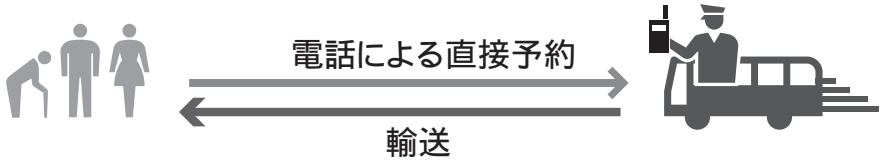
【15人乗りバスを改造】

○15人乗りバスにステップや手摺をとりつけて使用。園児なども乗せるため、チャイルドシートも常備している。
○雪の多い地域ではステップの取り付け位置などに注意が必要。



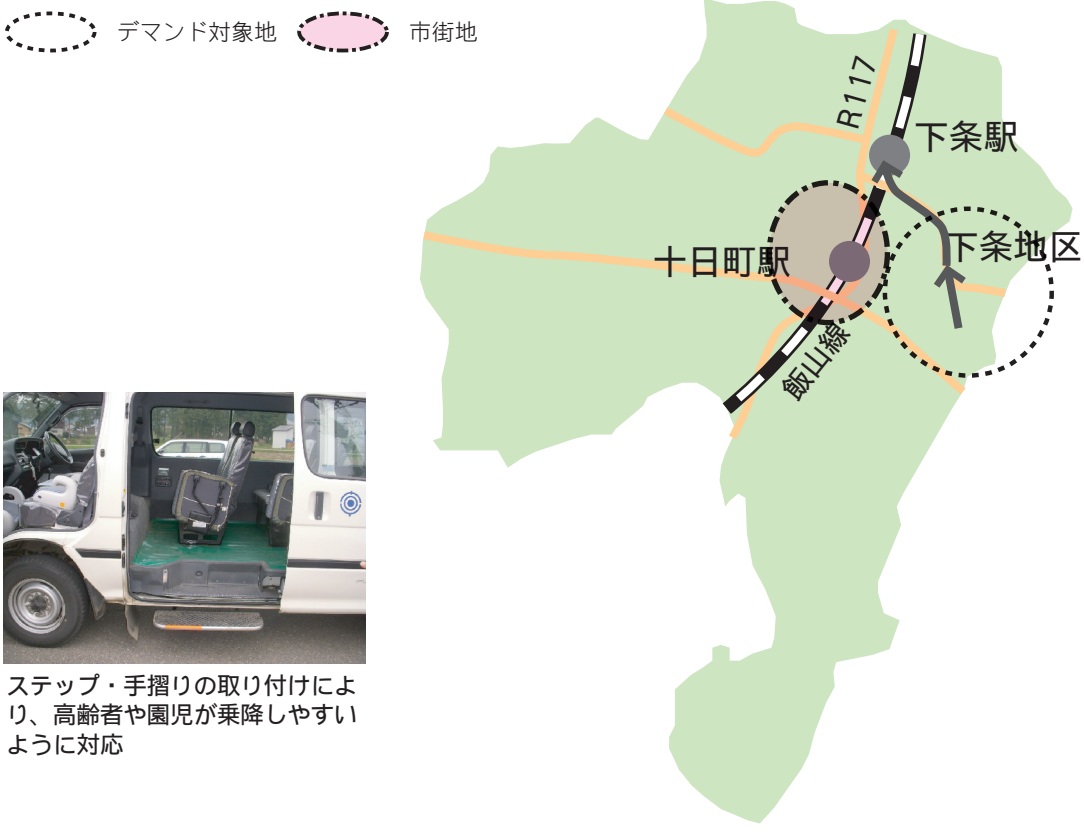
輸送に使用している車両は15人乗りバス

運行のシステム構成

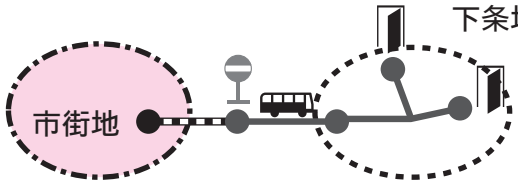


・予約は、運転手の携帯電話へ直接、連絡を入れる。

運行エリア



ステップ・手摺りの取り付けにより、高齢者や園児が乗降しやすいように対応



最寄駅までデマンド交通で輸送し、市街地へは電車で移動

⑨福祉に特化したデマンド交通（石川県　津幡町）　詳細データは資-ｐ47

1）地域の概況

津幡町は、石川県のほぼ中央に位置し、古くから加賀･能登･越中の三国を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。

公共交通機関については、ＪＲ北陸本線・七尾線の分岐点である津幡駅をはじめ町内には５つの駅があり、金沢駅にはどの駅からも２０分前後で行くことができます。
また、富山県に向かう国道８号と能登へ向かう１５９号が町内を通っています。

金沢市のベッドタウンにもなっており、人口は36,675人で高齢者率は17.4％と比較的、高齢者率の低い地域です。

津幡町では、障害者や高齢者を対象としたデマンド交通を週2日、運行しています。

運行にあたっては、利用者登録を行わず、障害者や高齢者を無料で乗車させています。

【津幡町の運行のポイント】



【役所内による台帳管理】

○役所内に受付センターがあり、パソコンによる台帳管理をしている。

○運行日は、火･金。前日の正午までに予約する。



【週2日の運行】

○毎週火･金に2地区を対象とし、高齢者や障害者を対象とした無料運行を行っている。

○デマンド対象地内は戸口から乗降、市街地ではバス停で乗降。



市街地での乗降場所は既存バス停



【10人乗りワゴンを改造】

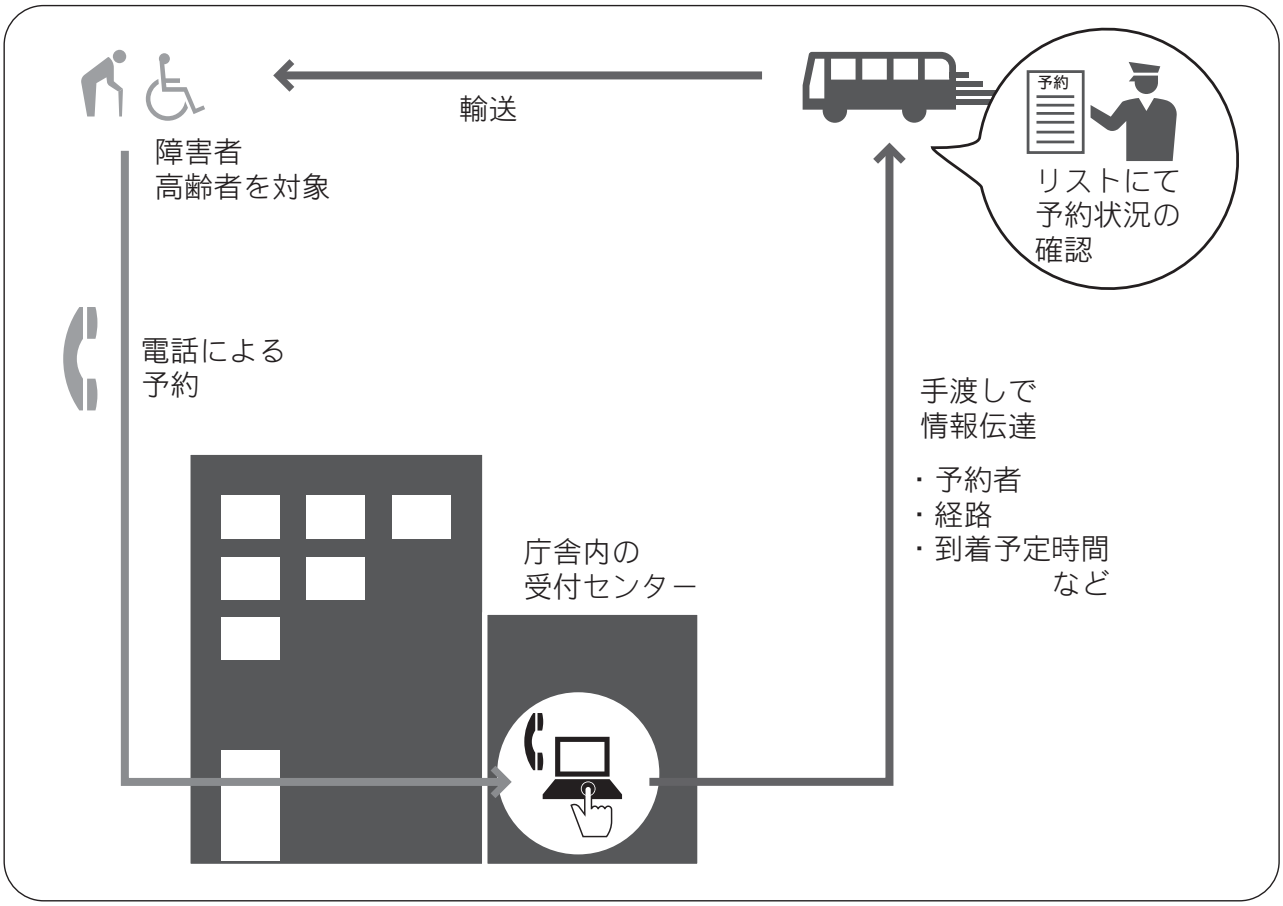
○一般的なワゴンにステップや手摺をとりつけて使用。

○雪の多い地域を運行するため四輪駆動車を使用。

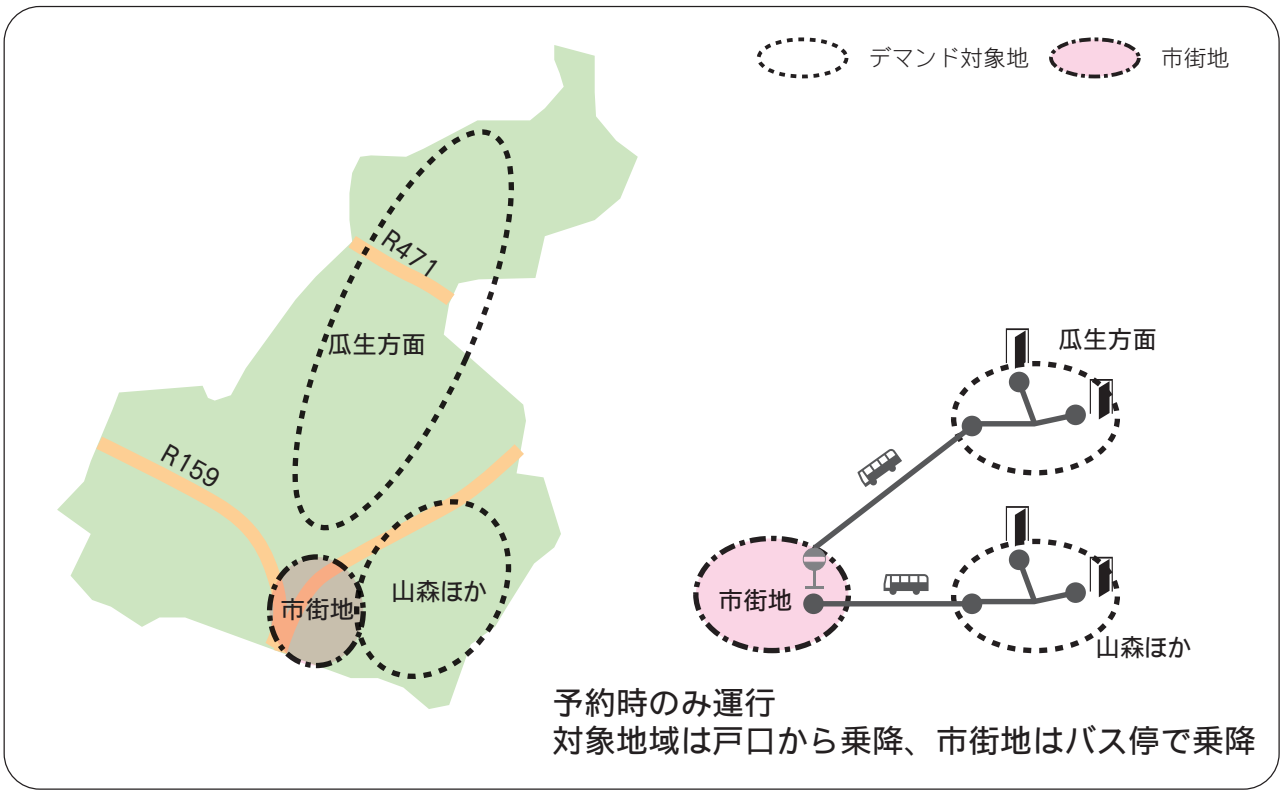


輸送に使用している車両は10人乗りワゴン

運行のシステム構成



運行エリア



予約時のみ運行
対象地域は戸口から乗降、市街地はバス停で乗降

事　例　集

※　二次アンケートにて回答いただいた内容で記載しています。
※　空欄は無回答です。

事例集の見かた

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

① NO. 0000　〇〇県　△△市

③ **導入時期**　平成20年7月

④ **運行目的**
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

⑤ **利用者負担**　利用者負担あり

⑥ **利用対象者**　制限なし

⑦ **利用登録**　あり

② **【市町村データ】**

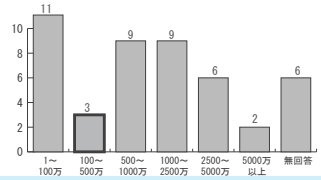
人口	100,000	人
65歳以上人口	25,000	人
高齢者率	25.0	%
世帯数	50,000	世帯
高齢単身者数	4,000	人
（	2009/3/現在）	

⑧ **市町村の導入設備**



備考:

⑨ **年間負担額**

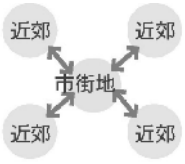


100～500万円

⑩ **運行体制：**　NPO法人と委託先で運営

⑪ 役割分担		⑫ 備　考	
予約受付	商工会	**予約方法** 電話	**予約締め切り** 前日の17時まで
輸 送	交通事業者 （車両・運転手）	**運行車輌種別**	自家用バス
車両管理	交通事業者	**乗車定員数**	29 人　人　人

⑬ **運行内容**



ドアードア

⑭

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
〇〇地域 ■■地域	・４本/日 ・５本/日	無料	土日、祝日

⑮ **導入効果**　従来の路線バスに比べ、利用実態にあった効率的な運行ができる。

⑯ **今後の課題**　中越大震災に伴い廃止された路線バスの代替交通であることから、その運営費の財源として復興基金を活用している。
復興基金は、平成２５年度までの対象期間となっており、それ以後も持続的に運営できるよう、経営体力を付けていく検討が必要である。

①見出し：県名、市町村名

②市町村データ：市町村の人口などデータ。運輸局調べ。人口、65歳以上人口、高齢者率はインターネットから引用。高齢単身者数は「平成17年度国勢調査（総務省統計局）」から引用。

③導入時期：デマンド交通を導入した時期、試験運行の場合は“（試験運行）”

④運行目的：デマンド交通を導入した目的。複数回答あり

⑤利用者負担：「利用者負担あり」ー利用者が運賃を払う場合

「利用者負担なし」ー無料で利用できる場合

⑥利用対象者：「不特定多数」ー特に利用者の制限がない場合

利用者制限がある場合は、その旨を記載。

⑦利用登録：「あり」ー事前の利用者登録が必要な場合

「なし」ー不要な場合

⑧市町村の導入設備：デマンド交通の導入にあたって導入した設備。



運行に使用する車両



PCソフトによる予約管理・経路設定などシステム



GPSによる車両位置特定システム



無線アンテナ・携帯電話など通信機器

⑨年間負担額：デマンド交通を導入している市町村の負担額の分布グラフ。太枠囲みは当該市町村の負担額。

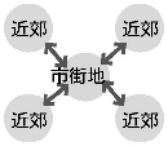
⑩運行体制：運営者の体制

⑪役割分担：「予約受付」「輸送」「車両管理」における役割分担。

⑫備考：予約方法や予約締め切り、運行に使用している車両及び定員数について記載

⑬運行内容：運行範囲と乗降場所。

【運行範囲】



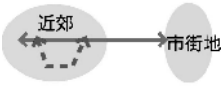
複数の路線・エリアから市街地まで運行



特定区域から最寄の路線バスまで運行

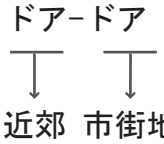


特定区域から最寄の駅まで運行



特定のバス路線を迂回して市街地まで運行

【乗降場所】



ドア：どこからでも乗降可能
バス停：バス停留所から乗降可能
※市街地側の降車場所のみ決められている
場合はその施設名称を記載（「病院」「日帰り温泉」など）

⑭運行地域名など：デマンドを運行している地域名、運行便数、料金形態、運休日。

⑮導入効果：デマンド交通導入の効果。

⑯今後の課題：デマンド交通の運営にあたっての課題。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0001　新潟県　長岡市

導入時期　平成20年7月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　その他:地域住民､その他登録者

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	280,293	人
65歳以上人口	68,992	人
高齢者率	24.6	%
世帯数	97,785	世帯
高齢単身数	4,232	人

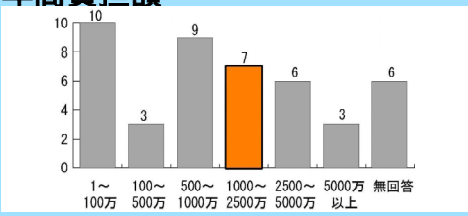
（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　GPSシステム

備考:

年間負担額

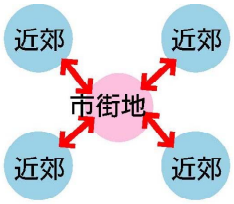


1000～2500万円

運行体制：　NPO法人による運営

	役割分担	備考
予約受付	NPO法人	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日の17時まで
輸送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス
車両管理	NPO法人	運行車輌種別：自家用バス、自家用乗用車　／　乗車定員数：29人、12人、8人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
山古志地域 （種芋原方面） （小松倉方面） （岩間木方面） 山古志・太田地域 （村松・蓬平方面）	・４本/日 ・５本/日 ・６本/日 ・往復11本/日	無料	日曜、祝日

導入効果　従来の路線バスに比べ、利用実態にあった効率的な運行ができる。

今後の課題　中越大震災に伴い廃止された路線バスの代替交通であることから、その運営費の財源として復興基金を活用している。
復興基金は、平成２５年度までの対象期間となっており、それ以後も持続的に運営できるよう、経営体力を付けていく検討が必要である。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0002　新潟県　三条市

導入時期　平成20年10月（試験運行）

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	105,628	人
65歳以上人口	26,189	人
高齢者率	24.8	%
世帯数	34,056	世帯
高齢単身数	1,806	人

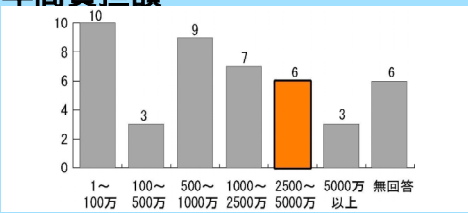
（　平成21年2月27日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム　GPSシステム

備考:

年間負担額

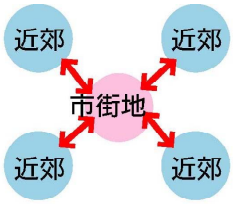


2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	シルバー人材	予約方法：電話　／　予約締め切り：下田・井栗地区：前日の17時まで　三条地区市街地：当日の２時間前まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別：営業用バス
車両管理	交通事業者	運行車輌種別：タクシー　／　乗車定員数：29人　10人　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
下田・井栗地区 三条地区市街地	７時～19時	定額制	土・日・祝日

導入効果　実証実験においては、目的地追加等を図り利便性の向上を目指しながら実施し利用実態の把握ができた。また、利用者インタビューや住民アンケート調査を実施し、本格導入に向けての課題を明らかにすることができた。

今後の課題　実証実験の利用状況やアンケート調査結果等から明らかになった課題
1）予約に関する改善要望への対応（当日予約への対応、予約の円滑化、予約抵抗の軽減）
2）ニーズに対応した目的地の増設検討
3）広報ＰＲの徹底と意識啓発
4）運行収支状況の改善

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0003　新潟県　柏崎市

導入時期　平成20年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	92,174	人
65歳以上人口	10,212	人
高齢者率	11.1	%
世帯数	33,957	世帯
高齢単身数	2,596	人

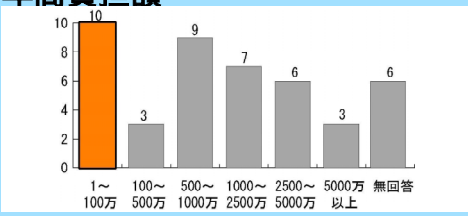
（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

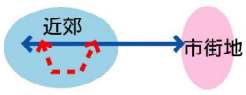


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	コミュニティ協議会	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日16時30分まで
輸 送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー　／　乗車定員数：5～10 人
車両管理	交通事業者	乗車定員数：　人　／　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
米山地区	3本/日	定額制	火曜日のみ運行 年末年始、祝日休

導入効果
- 地域住民組織が運営の一部に参画した、新たな公共交通による公共交通空白地区の縮減
- 路線バスでは運行不可能な細やかな経路設定による利用者の利便向上
- 少ない需要に見合った車両の選択による採算性の向上

今後の課題
- 持続可能な公共交通として確立するための、安定的な利用者の確保

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0004　新潟県　新発田市

導入時期　平成20年10月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

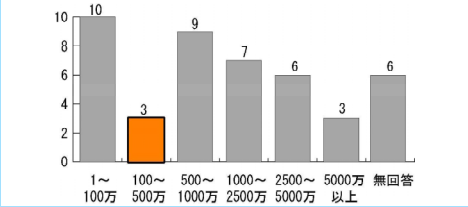
人口	103,021	人
65歳以上人口	26,264	人
高齢者率	25.5	%
世帯数	33,964	世帯
高齢単身数	2,115	人

（　平成20年7月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 従来から運行しているコミュニティバスから移行し、設備を引き継いだ

年間負担額

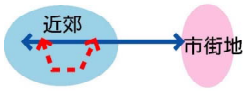


100～500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	新発田市	予約方法: 電話、ファックス　／　予約締め切り: 4日前まで
輸　送	NPO法人（運転業務）	運行車輌種別: 自家用バス　／　乗車定員数: 29　人　／　人　／　人
車両管理	新発田市	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
新保小路 茗荷谷	予約時のみ運行	定額制	土日祝、お盆、年末年始

導入効果　従来の路線バスに比べ、効率的に交通空白地域への対応が可能

今後の課題　予約締め切りが４日前のため、即対応ができない

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0005　新潟県　十日町市

導入時期　平成16年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	61,276	人
65歳以上人口	19,128	人
高齢者率	31.2	%
世帯数	19,970	世帯
高齢単身数	1,276	人

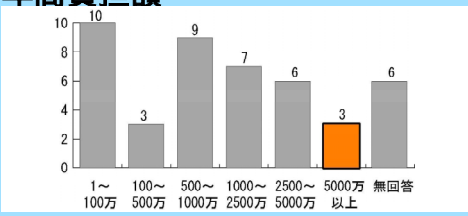
（　平成21年2月28日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

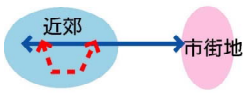


5000万円以上

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	NPO法人	予約方法：電話（運転手へ直通）／予約締め切り：運行直前まで可能
輸 送	NPO法人（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス／乗車定員数：15 人
車両管理	十日町市	

運行内容



ドア　-　駅

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
下条地区	7本/日	定額制	土日祝

導入効果　・地元のNPO法人を委託先とすることで、地域を主体とした、交通空白地へのきめ細かい対応が行われた。

今後の課題　・より利便性の高い効率的な輸送サービスの実現が求められている。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0006　新潟県　見附市

導入時期　平成20年10月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

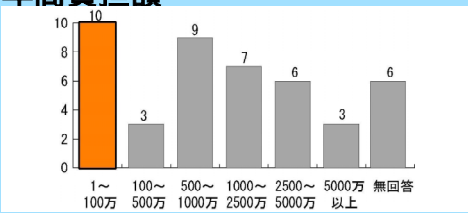
人口	42,021	人
65歳以上人口	10,517	人
高齢者率	25.0	%
世帯数	13,608	世帯
高齢単身数	707	人

（　平成20年7月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

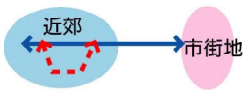


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話	予約締め切り: 1時間前
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: タクシー / タクシー	
		乗車定員数: 4人 / 9人 / 人	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
今町村部地区	4本/日	定額制	日祝

導入効果
- 従来の乗合バスに比べ市負担額を削減することができた
- 従来より広いエリアをカバーし、交通空白地域を解消することができた

今後の課題
- 地域のニーズの把握とそれにあわせた運行内容の検討

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0007　新潟県　糸魚川市

導入時期　平成13年8月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

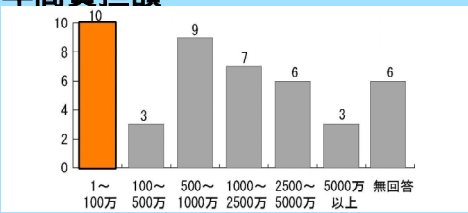
人口	48,280	人
65歳以上人口	15,674	人
高齢者率	32.5	%
世帯数	17,805	世帯
高齢単身数	1,666	人

（　平成20年7月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: リース車両を使用

年間負担額

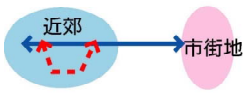


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	行政連絡員	予約方法: 電話	予約締め切り: 前日午後3時まで
輸　送	交通事業者（運転業務）		
車両管理	糸魚川市	運行車輌種別: 自家用バス	
		乗車定員数: 15 人	人　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
上路地区	3本/日	無料	月火木土日

導入効果　公共交通機関空白地域に暮らす住民の移動手段確保

今後の課題　利用者減少による運行方法の検討

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0008　新潟県　妙高市

導入時期　平成17年12月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	37,080	人
65歳以上人口	10,383	人
高齢者率	28.0	%
世帯数	12,196	世帯
高齢単身数	853	人

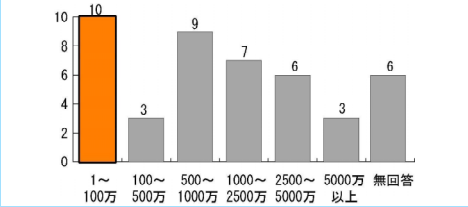
（　平成21年2月28日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考: リース車両を使用

年間負担額

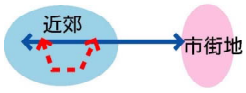


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日の19：00まで
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス　／　乗車定員数：15 人
車両管理	交通事業者	乗車定員数：　人　／　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
檜本線 上小沢線	5本/日	定額制	なし

導入効果　効率的で利便性の有る運行が出来るようになった。

今後の課題　地域で運行するコミュニティバスへの移行を検討したい

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0009　新潟県　上越市

導入時期　平成15年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	205,266	人
65歳以上人口	52,387	人
高齢者率	25.5	%
世帯数	71,955	世帯
高齢単身数	4,396	人

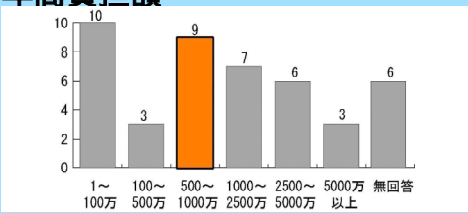
（平成20年7月1日 現在）

市町村の導入設備

予約受付システム

備考:

年間負担額

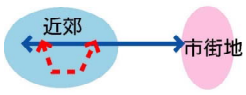


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話　／　予約締め切り：当日の運行開始30分前
輸送	交通事業者	運行車輌種別：営業用バス　／　乗車定員数：15人
車両管理	交通事業者	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
浦川地区（横住線）	7往復/日 うちデマンドは4往復	距離制	土、日

導入効果　従来の路線バスによる通常運行ではまかなえなかった交通空白地域への対応がデマンド化により効率的に可能となった。

今後の課題
- 過疎化の進行による利用者人口の減少。ここから生じる路線バスの採算性の悪化と自治体の財政負担の肥大化。
- 人口分布の変化に伴うデマンドポイントの移設や運行経路の見直し。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0010　新潟県　魚沼市

導入時期　平成15年5月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

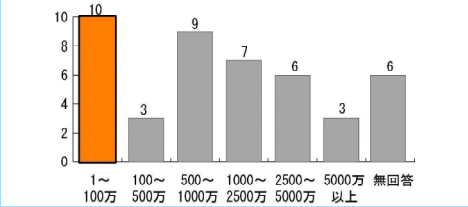
人口	42,319	人
65歳以上人口	11,892	人
高齢者率	28.1	%
世帯数	13,506	世帯
高齢単身数	877	人

（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

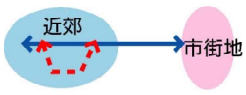


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話 / 予約締め切り: 当日、発車時刻の３０分前
輸送	交通事業者	
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: 営業用バス、タクシー / 乗車定員数: 10～15 人、10 人、　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
田川入地区（旧堀之内町の、増沢、舟山、魚野地、坊名地区）	2回/1日（予約時のみ運行）	定額制	月曜以外は運休

導入効果　交通空白地域の解消を図ることができたため、地域の移動制約者から喜ばれている。

今後の課題　毎週月曜日のみの運行であるため、運行回数の増が必要でないか。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0011　新潟県　胎内市

導入時期　平成21年4月から正式運行

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	31,951	人
65歳以上人口	8,731	人
高齢者率	27.3	%
世帯数	10,270	世帯
高齢単身数	563	人

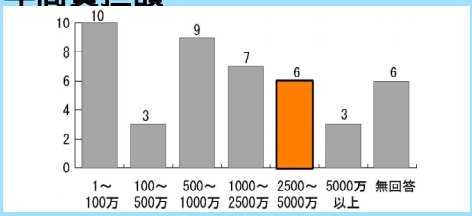
（平成20年7月1日 現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム

備考:

年間負担額

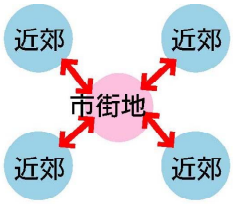


2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備考	
予約受付	交通事業者	予約方法：電話	予約締め切り：利用したい便の１時間前まで。ただし、始発の便については、前日の１７時まで。
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別：タクシー 乗車定員数：9人　人　人	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
中条築地エリア	8本/日	距離制	予約時のみ運行
乙エリア	8本/日		
黒川エリア	6本/日		

導入効果

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0012　新潟県　津南町

導入時期　昭和37年12月5日運行開始

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　限定地域（学生､通院患者優先）

利用登録　なし

【市町村データ】

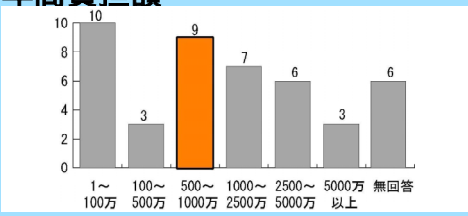
人口	11,040	人
65歳以上人口	4,125	人
高齢者率	37.4	%
世帯数	3,671	世帯
高齢単身数	318	人

（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

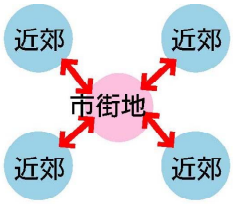


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	津南町	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日１７時３０分（運転手が対応可能な場合は、当日８時３０分）
輸送	個人事業主（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス　自家用バス
車両管理	津南町	乗車定員数：29 人　25 人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
上郷川西地域 大場・津南原地域 出浦・日出山地域 秋山地域	2本/日	無料	●予約時のみ運行する集落もある。予約時のみ土曜日は運行。運休日：火・金・日曜祝日、偶数月第４月曜日、第２・４土曜日、年末年始６日間

導入効果　交通空白地域への対応ができるようになった。

今後の課題　①路線バスと重複区間があるため、路線バス、タクシーなどの有償運送事業者の生業を圧迫する一因となっている。そのため、路線バスの赤字が増加し、町の路線バス赤字補填額が多額に上っている。
②自然的、地形的条件によりマイクロバス車両で行けない集落がある。また、過疎・高齢化の進展によりバス停に出るまでかなり難儀している足の不自由な高齢者が増加している。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0013　長野県　長野市

導入時期　平成17年8月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	377,169	人
65歳以上人口	88,156	人
高齢者率	23.4	%
世帯数	148,121	世帯
高齢単身数	9,371	人

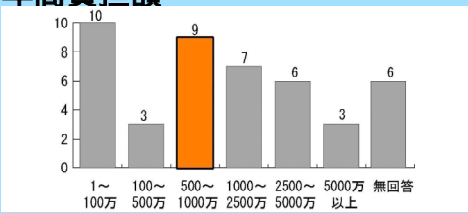
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

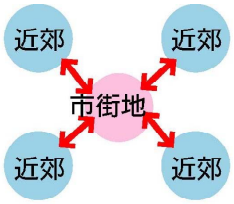


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法：電話	予約締め切り：前日の17時まで
輸 送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー	
車両管理	交通事業者	乗車定員数：5 人	人　人

運行内容



運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
浅川地区 小田切地区 信更地区 七二会地区 芋井地区	12～21 本/日	定額制	●運休日：土、日、祝日、お盆（8/13～16）、年末年始 ●運休日：火、木、土、日、お盆（8/13～16）、年末年始

導入効果　交通空白地域へ事前予約制乗合タクシーを導入したことにより、効率的な運行ができ、車を運転できない高齢者の交通手段を確保している。

今後の課題　利用者が少ない地区もあることから、利用促進策についても検討する。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0014　長野県　松本市

導入時期　平成18年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

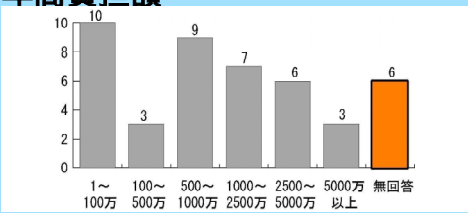
人口	227,188	人
65歳以上人口	51,818	人
高齢者率	22.8	%
世帯数	92,351	世帯
高齢単身数	6,081	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 社会福祉協議会の事業のため、市の導入設備なし

年間負担額

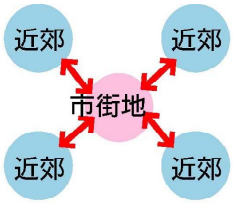


無回答

運行体制：　社会福祉協議会による運営

役割分担		備　考	
予約受付	社会福祉協議会	**予約方法** 電話、社協職員の訪問による予約受	**予約締め切り** 原則として、運行希望日の７日前の午後５時まで やむを得ない場合は、前日の正午まで
輸　送	社会福祉協議会		
車両管理	社会福祉協議会	**運行車輌種別**　自家用乗用車 **乗車定員数**　9　人　　人　　人	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
奈川地区 安曇地区 四賀地区		距離制	土日 原則的にない 土日

導入効果　高齢者等にとって、非常に効率的な交通手段として位置づいた

今後の課題　補助単価及び利用者負担の見直しの時期

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0015　長野県　上田市

導入時期　平成18年2月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	161,236	人
65歳以上人口	40,149	人
高齢者率	24.9	%
世帯数	61,803	世帯
高齢単身数	3,373	人

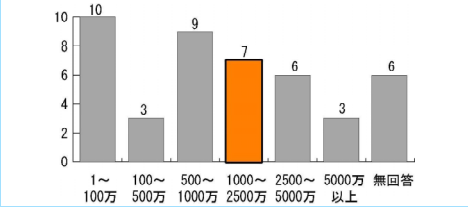
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム

備考:

年間負担額

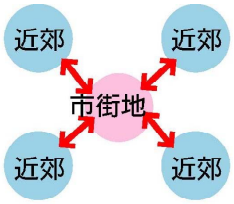


1000～2500万円

運行体制：　商工会による運営

役割分担		備考	
予約受付	商工会	予約方法：電話	予約締め切り：乗りたい便の出発時間３０分前まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー	
車両管理	商工会	乗車定員数：9人	

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
武石地域全域 丸子方面 長和方面	19本/日	定額制	土日祝、お盆、年末年始

導入効果　地域内の交通弱者の運行確保

今後の課題
- 利用人口の増
- システム更新に関わる費用

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0016　長野県　飯田市

導入時期　平成20年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

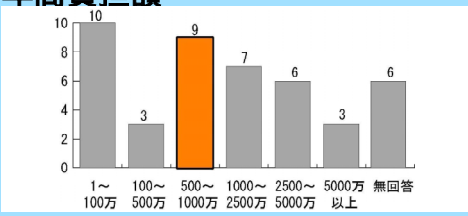
人口	106,262	人
65歳以上人口	28,094	人
高齢者率	26.4	%
世帯数	37,769	世帯
高齢単身数	3,009	人

（　平成21年2月28日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

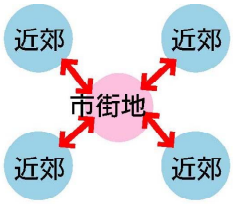


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話	予約締め切り: 運行の1時間前まで
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: タクシー	
		乗車定員数: 10人	人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
乗合ﾀｸｼｰ千代線 乗合ﾀｸｼｰ遠山郷線 乗合ﾀｸｼｰ上村線 乗合ﾀｸｼｰ下栗線 乗合ﾀｸｼｰ須沢線 乗合ﾀｸｼｰ上島線 乗合ﾀｸｼｰ八重河内線 乗合ﾀｸｼｰ平岡線	1～6本/日	距離制	土日祝（路線による）

導入効果　・空白地域に公共交通を整備することができた。・利用者数に合った公共交通への転換ができた。

今後の課題　・少ない便数・地域住民への周知・利用促進

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0017　長野県　須坂市

導入時期　平成21年10月から正式運行

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	53,058	人
65歳以上人口	13,430	人
高齢者率	25.3	%
世帯数	18,772	世帯
高齢単身数	1,251	人

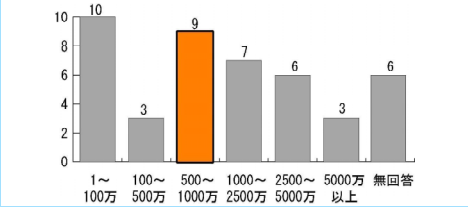
（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム

備考:

年間負担額



500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話　／　予約締め切り：利用日の前日
輸送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー　タクシー
車両管理	交通事業者	乗車定員数：5人　10人　人

運行内容

近郊 ⇔ 市街地

ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
豊洲・日野地区	9本/日	定額制	平日月～金曜日

導入効果　既存路線バスの運行形態を見直すことにより、利便性向上と運行の効率化が図られ、持続可能な交通体系へ転換が図られる。

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0018　長野県　伊那市

導入時期　平成20年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	71,603	人
65歳以上人口	18,270	人
高齢者率	25.5	%
世帯数	26,988	世帯
高齢単身数	1,777	人

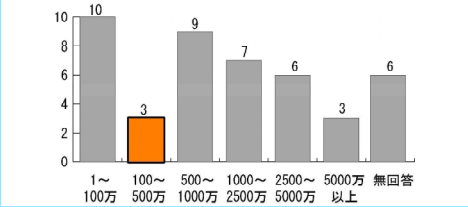
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考: ほかに電話機

年間負担額

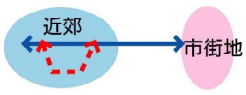


100～500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話	予約締め切り: 2時間前まで
輸 送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: タクシー	
		乗車定員数: 10 人	人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
伊那西部地区	8本/日	距離制	火、木、土、日

導入効果　予約制運行のため、従来の定時定路線バスよりも効率的な運行ができるようになった。

今後の課題　利用状況に応じて、サービスの向上を図り、より効率的な運行を行なう必要がある。
より積極的に利用促進を図る必要がある。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0019　長野県　大町市　①　※日常の交通手段としてのデマンド交通

導入時期　平成21年4月から正式運行

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

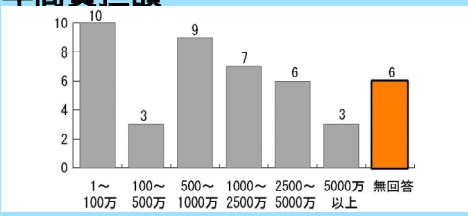
人口	30,968	人
65歳以上人口	8,989	人
高齢者率	29.0	%
世帯数	11,872	世帯
高齢単身数	904	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

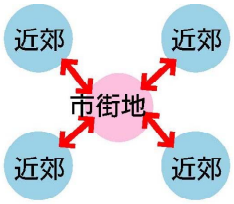


無回答

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話 / 予約締め切り: 運行日前日17時までキャンセルの場合は、運航日の8時まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別: タクシー / 乗車定員数: 6～10 人
車両管理	交通事業者	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
大町A 大町B 平A 平B 常磐A 常盤B 社	各月2日	定額制	往復１便づつ　運行カレンダーによる

導入効果　従来の路線バスに比べ、効率的な対応ができるようになった。経費的にも削減できた。

今後の課題　他の市内11コースの市民バスについて、導入拡大を図るか検討。予約受付について、他の路線に拡大した場合システム化と委託先を検討することが必要、また、運行する車両を確保することが必要（タクシー事業者か、市か、も含めて）

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0020　長野県　大町市　②　※日帰り温泉へのデマンド交通

導入時期　平成21年4月から正式運行

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

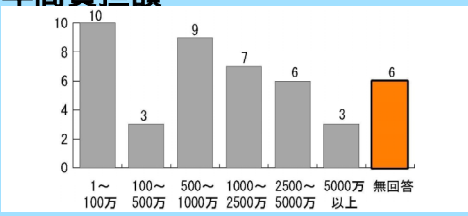
人口	30,964	人
65歳以上人口	8,989	人
高齢者率	29.0	%
世帯数	11,872	世帯
高齢単身数	904	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

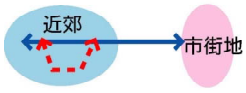


無回答

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話 / 予約締め切り: 運行日前日17時までキャンセルの場合は、運航日の8時まで
輸送	交通事業者	
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: 営業用バス / 乗車定員数: 29 人　人　人

運行内容



運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
美麻コース、川手線	5本/日（土曜は3本/日）	定額制	日・祝・年末年始

ドア-温泉施設

導入効果　従来の路線バスに比べ、効率的な対応ができるようになった。経費的にも削減できた。

今後の課題　他の市内11コースの市民バスについて、導入拡大を図るか検討。予約受付について、他の路線に拡大した場合システム化と委託先を検討することが必要、また、運行する車両を確保することが必要（タクシー事業者か、市か、も含めて）

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0021　長野県　飯山市

導入時期　平成19年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

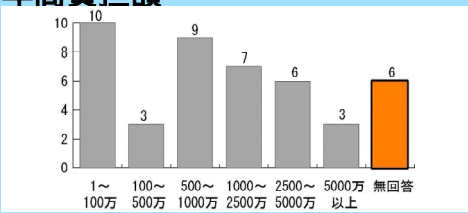
人口	23,965	人
65歳以上人口	7,238	人
高齢者率	30.2	%
世帯数	8,178	世帯
高齢単身数	651	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

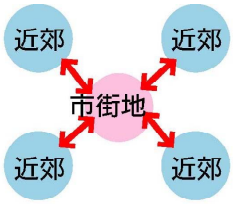


無回答

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話 / 予約締め切り: 運行時間の１時間前、朝１番の便は前日の１７時まで
輸送	交通事業者	
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: タクシー / 乗車定員数: 10 人　人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
富倉・大川地域 岡山下段地域 瑞穂・木島地域	3.9～5.5本/日	距離制	月水金

導入効果　予約があった場合のみ運行するため、運行にするため、運行に係わる余分な経費を削減できた。

今後の課題　公共交通は一定程度必要であり、利便性の向上を図りながら経費を削減できるかが課題となっている。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0022　長野県　塩尻市

導入時期　平成19年10月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	67,828	人
65歳以上人口	15,314	人
高齢者率	22.6	%
世帯数	25,590	世帯
高齢単身数	1,327	人

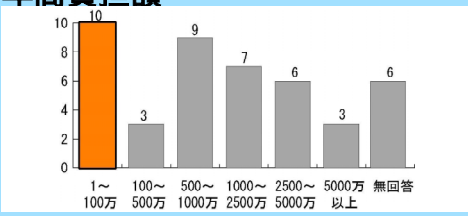
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

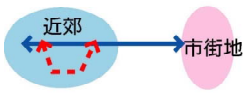


100万円以下

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	塩尻市	予約方法：電話　／　予約締め切り：運行日の１日前
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用乗用車　／　乗車定員数：10 人　人　人
車両管理	塩尻市	

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
楢川地区の一部 川入集落	各3本/日 （予約時のみ運行）	定額制	火、木、土、日、祝

導入効果　交通空白地域の解消
運行経費の削減

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0023　長野県　佐久市

導入時期　平成18年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

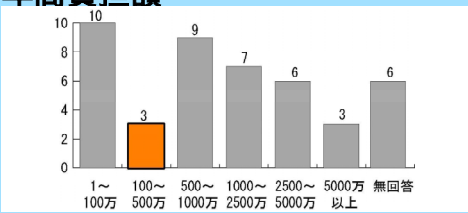
人口	99,919	人
65歳以上人口	25,470	人
高齢者率	25.5	%
世帯数	38,299	世帯
高齢単身数	2,718	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額



100～500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法: 電話	予約締め切り: 前日まで
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別: タクシー	
		乗車定員数: 5～10 人　人　人	

運行内容

ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
畳石線 御牧原線 長者原線 観音寺線 合の沢線	各2～3本/日	距離制	祝祭日、12/29～1/3

導入効果　事業開始に伴う導入費用がかからず、従来の路線バスにみられた"空バス"運行がなくなり、効率的な運行となり、経費節減が図られる。

今後の課題
- まだまだ利用される方が少なく、1便あたりの乗車人数も2人以下と少ない状況であるので、より効率の良い運行となるよう、利用状況を検証し、運行日数、運行便数の見直しを図る。
- 利用者増加に向け、市民へのデマンドタクシーの利用の啓発に努める。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0024　長野県　東御市

導入時期　平成18年10月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	31,137	人
65歳以上人口	7,573	人
高齢者率	24.3	%
世帯数	11,474	世帯
高齢単身数	687	人

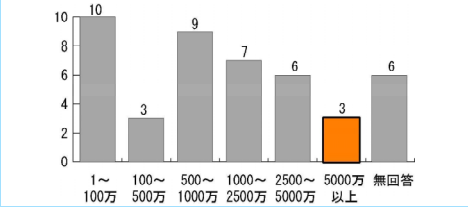
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

予約受付システム

備考:

年間負担額

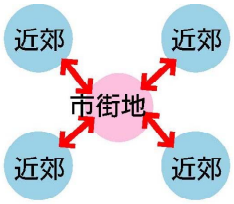


5000万円以上

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	商工会	予約方法：電話	予約締め切り：利用希望時間の30分前まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー	タクシー
車両管理	交通事業者	乗車定員数：9人	4人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
和地区、祢津地区、滋野地区、御牧原地区、八重原地区	7本/日	定額制	土日祝、旧盆、年末年始

導入効果　全市を5エリアに分け,中心地点の駅で乗り継ぎを行っている。市民病院、福祉センター等を全社両直接乗り入れ可能な共通エリアとし、利便性を図っている。利用者の半数以上が70～80歳代。病院や温泉へ気軽に出かけられ、喜ばれている。利用人数も年々増加している。

今後の課題　・乗車困難者の増加への対応。・対人口あたりの登録率の向上と、新規利用者の開拓。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0025　長野県　安曇野市

導入時期　平成19年9月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	97,101	人
65歳以上人口	23,960	人
高齢者率	24.7	%
世帯数	36,459	世帯
高齢単身数	1,980	人

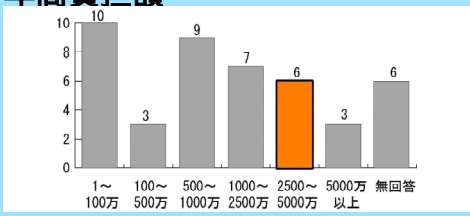
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備



備考:

年間負担額



2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	社会福祉協議会	**予約方法** 電話 インターネット	**予約締め切り** 利用予定便の出発時刻３０分以上前（基本） 午前８時の便は前日
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者		

運行車輌種別

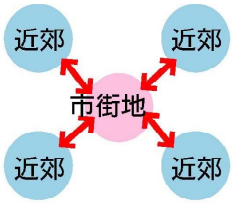






乗車定員数	15　人	10　人	5　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
全域 （一部運行できない地域あり）	16（32）本/日	定額制	土日、祝日、年末年始

導入効果　利便性の高いフルデマンド方式を採用する事により、市内全域で交通の空白地帯を解消し、病院や商店等へのアクセス向上等により住民生活の質的向上が図れた。

今後の課題　予約電話がつながりにくい課題解消につとめたい

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0026　長野県　南牧村

導入時期　平成13年4月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	3,424	人
65歳以上人口	945	人
高齢者率	27.6	%
世帯数	1,141	世帯
高齢単身数	72	人

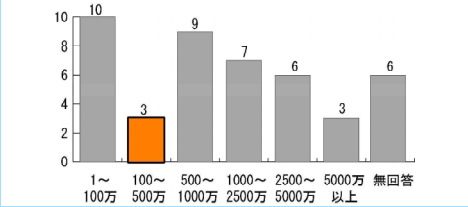
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額

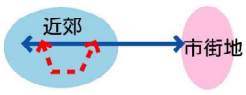


100～500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	南牧村	予約方法：電話（時刻表あり）／予約締め切り：なし
輸　送	社会福祉協議会（運転業務）	運行車輌種別：自家用乗用車／乗車定員数：10　人　人　人
車両管理	南牧村	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
村内から小海町	1本/日	無料	火,土,日

導入効果　高齢者や障害者の交通手段の確保（高齢者は、おおむね独居老人、高齢者世帯のみ）

今後の課題　特になし

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0027　長野県　佐久穂町

導入時期　平成19年2月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	12,543	人
65歳以上人口	3,899	人
高齢者率	31.1	%
世帯数	4,353	世帯
高齢単身数	405	人

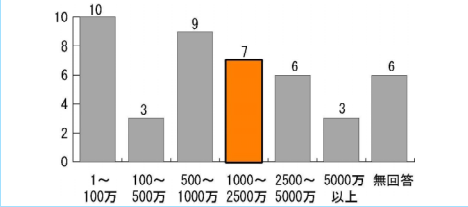
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム　GPSシステム

備考:

年間負担額

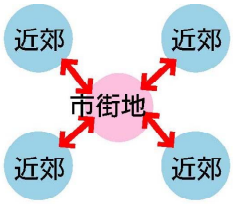


1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備考
予約受付	商工会	予約方法：電話　／　予約締め切り：利用する30分前までに予約（ただし、朝の第1便を利用する場合は前日までに予約）
輸送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー　／　乗車定員数：10人
車両管理	交通事業者	

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
全域（山間部を除く）	14本/日	定額制	土日祝、お盆、年末年始

導入効果
- 多様化していた公共交通の一本化の実現及び地域、年齢等の格差解消。・以前の公共交通と比較して大幅な減額。
- 社会的弱者の利便性の向上。
- 町内商業の振興への寄与。
- 住民から苦情の減少。「バスが空気を運んでいる」等

今後の課題
- 現在の運行は、町内のみの運行のため、隣接する市の総合病院への直通便の検討。
- 朝夕の運営時間の検討。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0028　長野県　富士見町

導入時期　平成16年3月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	15,417	人
65歳以上人口	4,443	人
高齢者率	28.8	%
世帯数	5,636	世帯
高齢単身数	492	人

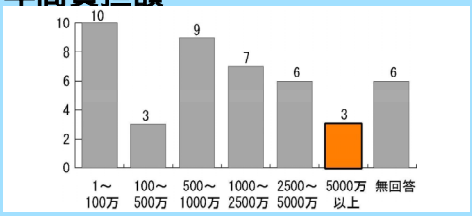
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム　GPSシステム

備考:

年間負担額

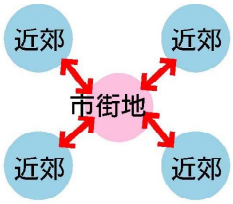


5000万円以上

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備考	
予約受付	交通事業者	予約方法：電話	予約締め切り：出発の30分前
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	運行車輌種別：タクシー / タクシー	乗車定員数：10人 / 4人 / 人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
全域	7本/日	定額制	土日祝、年末年始

導入効果　従来の路線バスより、市街地から遠い地域からの交通の便が良くなった。また、町内均一の料金で安価で移動できるようになった。

今後の課題　夕方4時半以降の便がないため、夜間便運行の要望が多く出ている。現在は、高齢者の交通手段を中心に運行を行っているため、中高生の帰宅時間には利用できないこと。現在は、各運行委託業者の車輌を使っているが、運行開始から6年目を迎え車輌の老朽化が進んでいる。近いうちに新しい車輌へ更新しなければならないが、その車輌をどこが買うのか。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0029　長野県　飯島町

導入時期　平成21年6月から実施予定

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	10,005	人
65歳以上人口	2,816	人
高齢者率	28.1	%
世帯数	3,164	世帯
高齢単身数	190	人

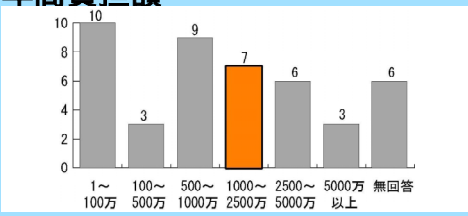
（　平成21年2月28日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額



1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話　／　予約締め切り：当日運行開始30分前及び当日第一便に限り前日17時まで
輸　送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス　／　乗車定員数：15　人　　人　　人
車両管理	交通事業者	

運行内容

近郊 ⇔ 市街地

ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
飯島・田辺西部地区	6本/日	定額制	土曜、日曜、祝日
飯島・田辺東部地区	6本/日		年末年始

導入効果
- ・経費の消滅
- ・目的地への時間短縮

今後の課題
- ・定路線デマンドからエリアデマンドへの移行時期
- ・利用者・ニーズの把握
- ・運行経路及びダイヤ改正の時期

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0030　長野県　中川村

導入時期　平成16年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	5,150	人
65歳以上人口	1,504	人
高齢者率	29.2	%
世帯数	1,575	世帯
高齢単身数	106	人

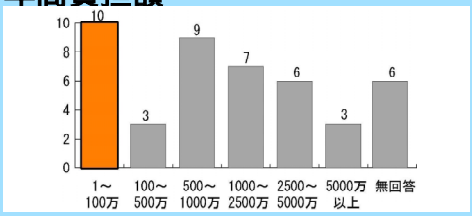
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム

備考:

年間負担額

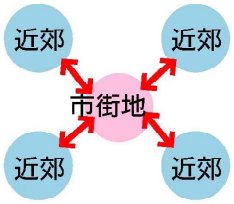


100万円以下

運行体制：　NPO法人による運営

	役割分担	備考
予約受付	NPO法人	予約方法：電話　予約締め切り：乗車する2日前まで
輸送	NPO法人	運行車輌種別：自家用乗用車　自家用乗用車
車両管理	NPO法人	乗車定員数：7人　4人　人

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
全域		エリア制	

導入効果
- タクシー乗車料金の概ね半分の対価で運送事業を行っているため、本サービスが始まる以前にタクシーを利用していた高齢者等の大部分が本サービスを利用するようになり、外出する回数も増えたものと推測される。
- 中川村営巡回バスの定期券所持者に対して割引サービスを実施しているため、バス定期券の売り上げ枚数とタクシー利用者数の双方に、良い影響を及ぼしあっている。（法人にとって減収要因となる前記割引額相当額を負担金として村が負担している。）

今後の課題
- 中川村外の乗降地として、松川町にある駅・病院・高校及び飯島町にある駅のみ可能となっているが、両町内にある診療所や金融機関等での乗降を希望する方が多いが、有償運送事業運営協議会において合意が得られないため、実現していない。
- 不景気によりタクシー利用者数も減少しており、有償運送のこれ以上のサービス向上は、あからさまにタクシー事業者のパイを奪うことにつながるため、協議会等では厳しい意見が聞かれる。
- 現在65歳～70歳以下の方は自動車免許保有率が100%に近いため、今後10年を見通すと潜在顧客数は確実に逓減

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0031　長野県　木祖村

導入時期　平成8年4月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	3,344	人
65歳以上人口	1,129	人
高齢者率	33.4	%
世帯数	1,181	世帯
高齢単身数	124	人

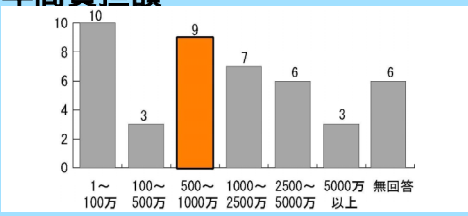
（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額

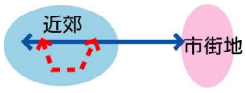


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	**予約方法** 電話	**予約締め切り** 原則として前日まで（当日でも空いていれば対応可能）
輸　送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	**運行車輌種別**　タクシー **乗車定員数**　10　人　　人　　人	

運行内容



ドア-病院

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
村内、県立木曽病院（木曽福島）	3本/日	定額制	土日祝、予約に応じて運行

導入効果　福祉タクシーは予約制であるが、安い料金で利用者の玄関先から村内一円まで送迎可能のため、移動に支障をきたしている高齢者や障害者の人たちから好評をいただいている。また、地域拠点病院である木曽町福島の県立木曽病院へ直通交通機関がないこともあり、同病院への通院者が多く利用している。

今後の課題　予約した利用者の希望運行時間帯に、木曽病院への定時運行時間帯が重なってしまうことがあるが、委託先の配車の都合上お断りせざるを得ない場合がある。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0032　長野県　木曽町

導入時期　平成19年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	13,263	人
65歳以上人口	4,478	人
高齢者率	33.8	%
世帯数	5,165	世帯
高齢単身数	589	人

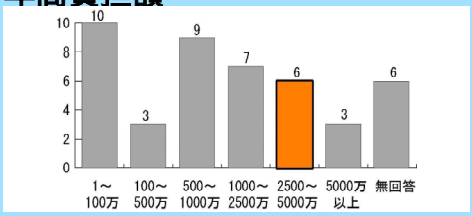
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備



備考: 車両のほか、配車システムの増強と無線受信基地局増設

年間負担額



2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話 ／ 予約締め切り：利用時間の1時間前まで（ただし、朝一番の場合は前日21時まで）
輸 送	交通事業者	
車両管理	交通事業者	運行車輌種別：営業用バス／タクシー／タクシー　乗車定員数：15人／10人／5人

運行内容



ドア-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
三岳地域 開田高原地域 木曽福島地域	7～10本/日	定額制	なし

導入効果　交通空白地や無医地区は、中山間地域の谷あいに集落が点在しており、交通再編前まではバス路線バス停まで遠距離を徒歩等により移動していた。木曽町生活交通システムの整備によりゾーンバスシステムによる幹線バス、巡回バス、乗合デマンドタクシーの組み合わせにより、交通空白地や無医地区に乗合型デマンドタクシーを導入したことで、戸宅近くまで車両送迎が可能となり、交通空白地や無医地区等の解消が図ることができた。これにより移動制約者の通院、通学、通勤、買い物など外出機会が増えた点が大きな効果と言える。

今後の課題　乗合型デマンドタクシーの利用者は、交通空白地を基本にエリア指定をして、そこに居住する住民登録のある住民に事前登録制による利用制限を課している。交通空白地エリアの指定は、バス路線から概ね１ｋｍ以上離れた地区としているが、１ｋｍ未満でも利用を望む声や障害者等からあがっているため、１ｋｍの距離撤廃などの検討を現在地域公共交通協議会で継続審議している。距離制限の撤廃により、乗合デマンドという道路運送法４条の区域運行と路線定期運行など路線の再編や地域の一般タクシー事業に大きな影響を与える懸念があるため大きな課題の一つ

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0033　長野県　白馬村

導入時期　平成21年4月から実施予定

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	9,260	人
65歳以上人口	2,110	人
高齢者率	22.8	%
世帯数	3,591	世帯
高齢単身数	180	人

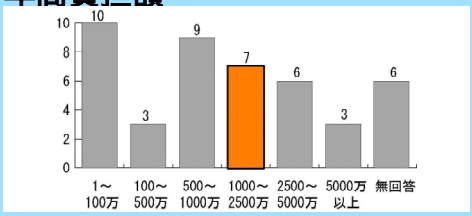
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム　GPSシステム

備考:

年間負担額

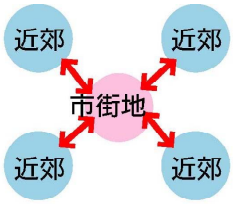


1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	社会福祉協議会	**予約方法** 電話	**予約締め切り** 出発時刻の30分前　ただし、始発便は前日の午後5時まで
輸送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	**運行車輌種別**　タクシー **乗車定員数**　10　人　人　人	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
全域	予約時のみ運行(最大16本/日)	定額制	土日、祝日、12/29-1/3

導入効果

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0034　長野県　山ノ内町

導入時期　H20年度:予約制による運行開始

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

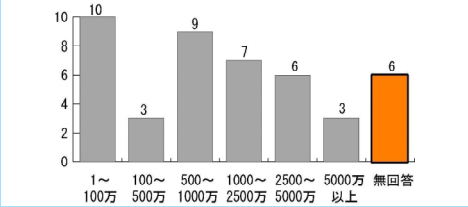
人口	13,943	人
65歳以上人口	4,544	人
高齢者率	32.6	%
世帯数	5,005	世帯
高齢単身数	458	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考:　特になし

年間負担額

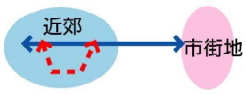


無回答

運行体制：　行政のみで運営

	役割分担	備　考
予約受付	山ノ内町	予約方法：電話　／　予約締め切り：運行日前日の17時まで
輸　送	山ノ内町	運行車輌種別：自家用乗用車
車両管理	山ノ内町	乗車定員数：8　人　／　人　／　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
須賀川地区	1本/日 火曜日のみ運行	無料	

導入効果

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0035　長野県　木島平村

導入時期　平成18年9月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	5,101	人
65歳以上人口	1,651	人
高齢者率	32.4	%
世帯数	1,585	世帯
高齢単身数	133	人

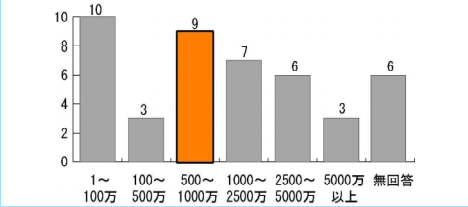
（　平成21年3月1日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額

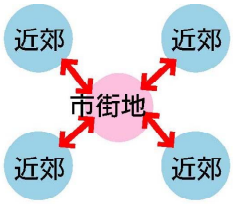


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	木島平村	**予約方法** 電話（予約による運行　８：３０ー前日まで）	**予約締め切り** 運行時間の30分前
輸　送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	**運行車輌種別**　タクシー **乗車定員数**　10　人　　人　　人	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
村内全域	6本/日（予約による運行、10：00、11：30、14：00、16：00）	定額制	土日祝祭日、8/13-16、12/29-1/3

導入効果　①生活交通の確保
②利便性の高い交通サービス利用可能

今後の課題　村外運広範囲の拡大（現在3ヶ所、駅病院）、村内、村外関係者を交えての地域協議会設置等、拡大に向けてハードルが高い。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0036　長野県　信州新町

導入時期　平成18年4月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録

【市町村データ】

人口	5,136	人
65歳以上人口	2,213	人
高齢者率	43.1	%
世帯数	2,153	世帯
高齢単身数	304	人

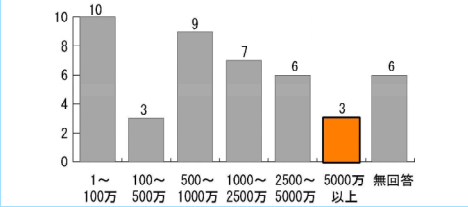
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

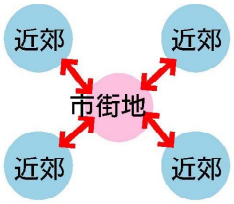


5000万円以上

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	信州新町	予約方法：電話	予約締め切り
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別	自家用バス / 自家用バス
車両管理	交通事業者	乗車定員数	29 人 / 15 人 / 人

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
栃ノ木線 左右線 宇内坂線 越道線 信級線 一倉田和線 水内線 南部線	1本/日	定額制	

導入効果　空で運行することがなくなった。経費節減

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0037　長野県　小川村

導入時期　平成21年4月から実施予定

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	3,140	人
65歳以上人口	1,335	人
高齢者率	42.5	%
世帯数	1,242	世帯
高齢単身数	196	人

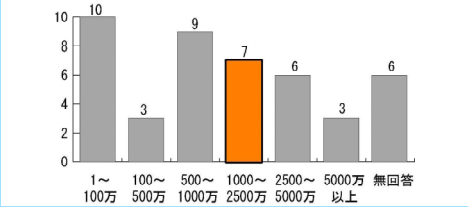
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

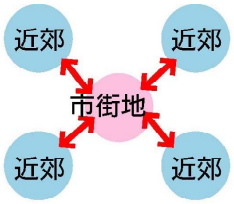


1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	交通事業者	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日17時頃まで
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用乗用車　／　乗車定員数：10 人　人　人
車両管理	交通事業者	

運行内容



ドア - ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
小川村内全域	3本/日	定額制	日・祝

導入効果　平成21年からシステム導入なので効果はこれから。

今後の課題　同上

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0038　長野県　飯綱町

導入時期　平成19年10月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	12,122	人
65歳以上人口	3,551	人
高齢者率	29.3	%
世帯数	4,100	世帯
高齢単身数	217	人

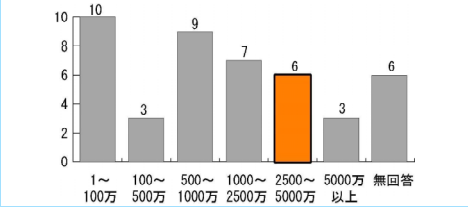
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額

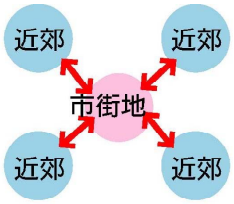


2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	飯綱町	予約方法：電話	予約締め切り：発車30分前
輸　送	交通事業者	運行車輌種別：営業用バス	営業用バス
車両管理	交通事業者	乗車定員数：15　人	29　人　　人

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
牟礼西方面 牟礼東方面 三水方面（東部） 三水方面（西部）	7本/日	定額制	土日祝

導入効果　町の交通にかかる支出の減少

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0039　長野県　栄村

導入時期　平成19年4月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	2,389	人
65歳以上人口	1,062	人
高齢者率	44.5	%
世帯数	932	世帯
高齢単身数	141	人

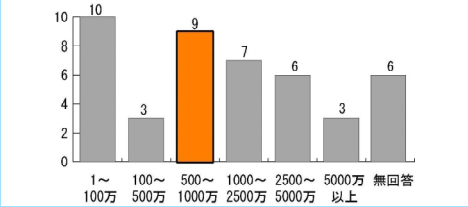
（　平成21年2月1日　現在）

市町村の導入設備

車　両

備考:

年間負担額

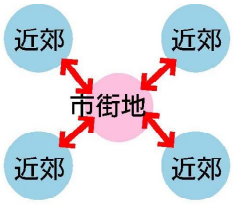


500～1000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	**予約方法** 電話 その他：（村の優先電話）	**予約締め切り** 運行30分前（始発便は前日19時まで）
輸　送	交通事業者		
車両管理	交通事業者	**運行車輌種別**　タクシー　営業用バス **乗車定員数**　10　人　15　人　　人	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
東部地区 西部・水内地区	1日10便中、予約有のみ運行	定額制	土日、祝祭日、年末年始

導入効果　従来の空走行が解消された。
出来る限り戸口まで迎えに行くため、高齢者に優しい交通となった。

今後の課題　利用者が低迷しているため、存続に向けて利用促進を図りたい。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0040　富山県　富山市①

導入時期　平成16年8月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	42,0933	人
65歳以上人口	98,527	人
高齢者率	23.4	%
世帯数	158,728	世帯
高齢単身数	10,351	人

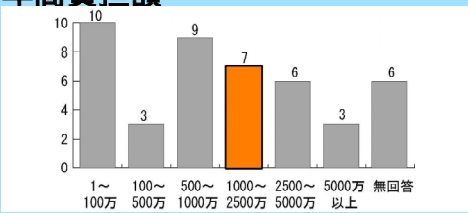
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

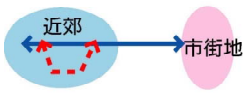


1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	交通事業者	予約方法：電話	予約締め切り：原則前日の午後9時
輸 送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー	
車両管理	交通事業者	乗車定員数：5 人	人　人

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
大野沢地域	予約回数本	定額制	日祝

導入効果　玄関から目的地までの運行のため、高齢者が外出する機会が増えた。

今後の課題　委託料の精査

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0041　富山県　富山市②

導入時期　平成16年8月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	42,0933	人
65歳以上人口	98,527	人
高齢者率	23.4	%
世帯数	158,728	世帯
高齢単身数	10,351	人

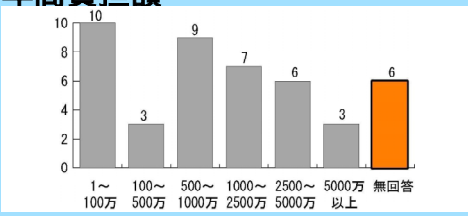
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

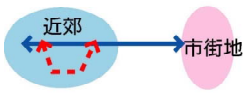


無回答

運行体制：　行政のみで運営

	役割分担	備　考
予約受付	富山市	予約方法：電話　／　予約締め切り：原則前日の午後9時
輸 送	富山市	運行車輌種別：自家用バス　／　乗車定員数：40 人
車両管理	富山市	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
小佐波地区	2　本/日		日祝
梯ヶ原地区	2　本/日		日祝
瀬戸地区	4　本/日		日祝
文珠寺地区	4　本/日		日祝
岡田地区	4　本/日		日祝

導入効果

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0042　富山県　南砺市

導入時期　平成18年9月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録

【市町村データ】

人口	56,577	人
65歳以上人口	17,113	人
高齢者率	30.2	%
世帯数	9,808	世帯
高齢単身数	1,209	人

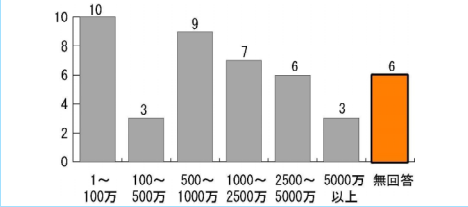
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

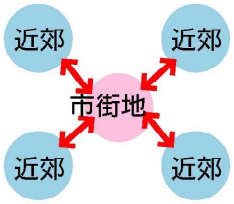


無回答

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	南砺市	予約方法：電話　／　予約締め切り：通過予定時刻の30分前
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用バス　／　乗車定員数：15～56 人
車両管理	南砺市	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日

導入効果　従来は、時刻表のとおりに運行していた路線について予約が無い場合は運行しない事にしたデマンド路線が主であるため、従来よりも効率的な運行が出来ていると思われる。

今後の課題

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0043　石川県　加賀市

導入時期　平成20年3月

運行目的
- ☒ 交通空白地への対応
- ☐ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　限定地域を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

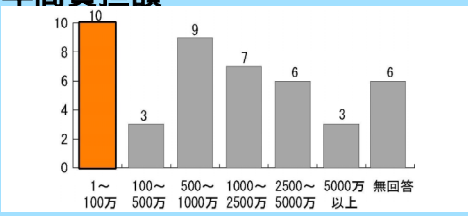
人口	73,214	人
65歳以上人口	19,664	人
高齢者率	26.9	%
世帯数	28,672	世帯
高齢単身数	2,498	人

（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

備考: 特になし

年間負担額

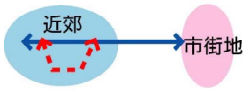


100万円以下

運行体制：　その他（地区住民による協議会）

役割分担		備　考	
予約受付	地区住民	予約方法: 電話	予約締め切り: 午前８時３０分の便は、当日の午後７時３０分まで その他の便は、出発時刻の２時間前まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別	タクシー　タクシー
車両管理	交通事業者	乗車定員数	5　人　9　人　　人

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
勅使・東谷口地区 橋立地区	4本/日 3本/日	定額制	火、木、土、日

導入効果　従来の路線バスに比べ、効率的に交通空白地域への対応ができるようになった。

今後の課題　利用者の増加による採算性の確保
地元運行協議会組織の持続性確保（地域リーダーの発掘、育成）

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0044　石川県　白山市

導入時期　平成19年4月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☒ 学生・生徒等の輸送
- ☒ 乗り合いバス廃止の代替
- ☒ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	110,808	人
65歳以上人口	21,732	人
高齢者率	19.6	%
世帯数	38,209	世帯
高齢単身数	1,599	人

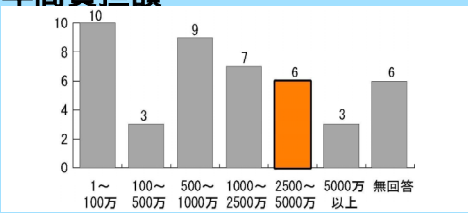
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム

備考: 予約受付システムは、インターネットによる予約状況確認のシステム

年間負担額

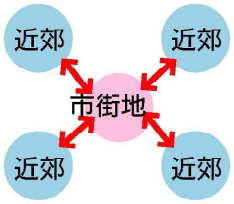


2500～5000万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備考	
予約受付	白山市	予約方法: 電話	予約締め切り: 前日の17時まで
輸送	交通事業者	運行車輌種別: 営業用バス	
車両管理	NPO法人	乗車定員数: 58～36 人	人　人

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
河内地域 鳥越地域 尾口地域		定額制	土日祝

導入効果　廃止代替としての機能確保と、予約方式にしたことによる運行コストの削減。

今後の課題　定時・定路線の運行ダイヤの中に、予約があった場合のみ運行する便を組み込んだ変則的なダイヤ編成から、ある程度の方向性を持たせた乗合タクシー方式を検討したい。
現在、中型の乗合バスによる輸送を行っているが、利用者が僅少であるため10人乗りワゴン等への車両の変更を検討したい。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0045　石川県　津幡町

導入時期　平成19年5月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担なし

利用対象者　高齢者,障害者など

利用登録　なし

【市町村データ】

人口	36,675	人
65歳以上人口	6,384	人
高齢者率	17.4	%
世帯数	12,354	世帯
高齢単身数	520	人

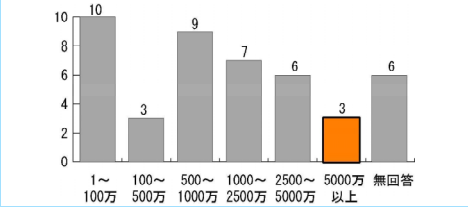
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車 両

備考:

年間負担額

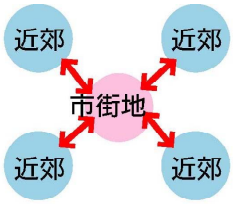


5000万円以上

運行体制：　行政と委託先で運営

	役割分担	備　考
予約受付	津幡町	予約方法：電話　／　予約締め切り：前日の12時まで
輸 送	交通事業者（運転業務）	運行車輌種別：自家用乗用車　／　乗車定員数：10 人
車両管理	津幡町	

運行内容



バス停-バス停

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
倶利伽羅地区（山森、倶利伽羅、大窪、南横根、常徳、舟尾、材木） 河合谷地区（瓜生）	各2本/日	無料	予約時のみ運行 毎週　火・金以外は運休

導入効果　デマンド運行導入以前は、当該地区の一部へは中型バスを利用して巡回していたが、利用者の減少や、当該地区が山間地であるため冬季間における積雪時には運休をしていた。
　そこで、冬季期間の運休解消や、利用の無い地区への無駄な運行解消、更には、中型バスでは乗り入れ出来なかった未運行地域への運行を目的に平成19年5月21日から４ＷＤワゴン車によるデマンド運行に変更した。導入における効果については、目的どおりとなっており、評価しております。
　また、平成21年3月3日からは河合谷地区の一地区においてもデマンド運行予定

今後の課題　現在は、無料の福祉バスでデマンド運行を行っておりますが、有料の町営バスにおいても、日中の便など利用者が少ない便においてデマンド運行を導入できないか検討中です。

北陸信越管内　デマンド交通事例　台帳

NO. 0046　石川県　宝達志水町

導入時期　平成15年3月

運行目的
- ☐ 交通空白地への対応
- ☒ 福祉目的
- ☐ 学生・生徒等の輸送
- ☐ 乗り合いバス廃止の代替
- ☐ 観光客対応

利用者負担　利用者負担あり

利用対象者　不特定の市民を対象

利用登録　あり

【市町村データ】

人口	14,741	人
65歳以上人口	4,101	人
高齢者率	27.8	%
世帯数	4,964	世帯
高齢単身数	408	人

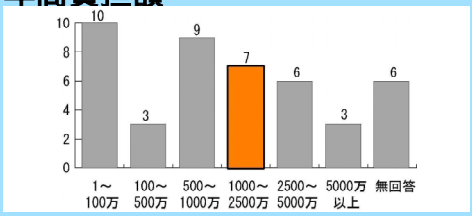
（　平成20年10月1日　現在）

市町村の導入設備

車両　予約受付システム　GPSシステム

備考:

年間負担額

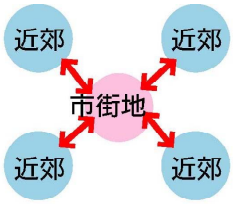


1000～2500万円

運行体制：　行政と委託先で運営

役割分担		備　考	
予約受付	宝達志水町	予約方法：電話	予約締め切り：発車３０分前、ただし、朝1番の便は要前日予約
輸送	交通事業者	運行車輌種別：タクシー	
車両管理	交通事業者	乗車定員数：5　人　人　人	

運行内容



ドア　-　ドア

運行地域名	平均運行便数	料金形態	運休日
町内全域	26本/日	定額制	土日祝

導入効果　従来の路線バスに比べ、効率的に対応でき、利用者には便利である。

今後の課題　町の財政が厳しいので、運行経費の削減に努めたい。